

# 令和元年度中小企業金融実態調査結果概要

令和元年 8 月 13 日  
富山県商工会連合会

## I. 調査目的

県下商工会地区における中小企業・小規模企業等の経営概況や金融に関する動向等を把握し、中小企業金融の円滑化に資するための基礎資料を得ることを目的として調査を実施した。

## II. 調査対象および方法

商工会地区の中小企業・小規模事業者のうち、1,040 企業を無作為抽出し、商工会の経営指導員の面接により調査を行った。

## III. 調査時期および実施期間

調査書記入時点	令和元年 7 月 1 日現在
調査実施期間	令和元年 7 月 1 日～7 月 12 日

## IV. 回答状況

調査対象企業数	1,040 社
回答企業数	989 社 (回収率 95.1%)

## V. 調査結果の概要

ここ 1 年間の売上高は、前回(1 年前)比で増加企業が 1.3 ポイント増加 (48.5%)、減少企業は 2.0 ポイント減少 (50.9%)で、やや回復傾向だった。採算面では黒字企業が 4.0 ポイント増加(40.2%) し、赤字企業が 0.4 ポイント減少 (20.4%)、売上高と同様に回復傾向だった。今後の見込みでは「売上減少」予想が 3.3%増加の 55.5%で、増加予想の 43.4%を上回った。「増加予想-減少予想」は-12.1%で前回の-5.6%より 6.5 ポイントの悪化で、厳しい見方が上回った。元請との取引条件では 29.8%が変化ありと回答し、うち 25%が「仕入れ先からの価格の引き上げ」だった。2019 年 10 月の消費税増税は「深刻～少し」の幅はあるが合計で 85.4%が「影響あり」と回答した。経営課題では、「販売の強化」「人材の確保・育成」「経費削減」が多く、「事業承継」「設備投資」「商品・サービス開発」が続いた。

金融機関の借入状況では、借入額減少 (49.2%)が増加(27.4%)を上回り、減少傾向が続く。金利の低下傾向も続いている。今後の「借入計画あり」が 3.2 ポイント減少 (18.1%)し、「設備計画あり」はほぼ横ばい(19.5%)で、資金需要は強くない。マイナス金利政策による金融機関の変化では「融資に積極的」が「消極的」を大きく上回った。借入の条件変更の難易度はやや下降し、金融機関の支援姿勢は継続されている。国・県・市の制度融資の全体評価は高いが、利用面ではやや減少傾向が続いている。保証協会利用も前回比やや減少した。

最近の諸制度では、事業引継ぎ支援センターの認知度は高まっている。後継者対策では、約半数の企業が事業承継か廃業かを検討中で「後継者決定・候補はいる」は 24.0% だった。補助金制度では、「活用」と「申請予定」の合計が 28.5%となり前回は 1.3 ポイント増加した。経営力向上計画の「認定を受けた」は 4.7%で製造業が多かった。キャッシュレス決済の導入予定では、「必要なし」をのぞいた場合、「強化予定」「導入予定」「対応完了」の合計は 39.6%で、「対応しない」は 60.3%と高水準だった。

項目別の回答は次の通りである。

今回の特徴点（前回・平成 30 年 7 月調査時点との比較）

### 1. 企業の営業の状況について

- (1) 年間売上高は、売上増加企業が 1.3 ポイント増加の 48.5%、売上減少企業が 2.0 ポイント減少の 50.9%となり、やや回復傾向だった。今後の売上高予想では、「減少する」は 3.3 ポイント増加（55.5%）、「増加する」との回答は 3.2 ポイント減少（43.4%）した。「増加予想-減少予想」は-12.4%で、前回の-5.6%より 6.5 ポイントの悪化となり、厳しい見方が上回った。業種別では、減少予想は小売業、卸売業、飲食業・宿泊業、製造業の順で多く、増加予想は運輸業、建設業が多かった。
- (2) 黒字企業は 4.0 ポイント増加の 40.2%で、赤字企業も 0.4 ポイント減少の 20.4% だった。採算の状況では、前回は「好転」が 1.1 ポイント減少（19.1%）したが、悪化も 0.5 ポイント減少（27.0%）し、横這い傾向である。
- (3) 10～12 月の資金繰り予想では、「大変苦しくなる」と、「苦しくなる」の合計は 26.8%で、前回は 2.0 ポイント増加した。「楽になる」が 2.6%、苦しくなる業種では、卸売業、運輸業、小売業が多い。苦しくなる要因は、「売上高予定額未達」と「利益が予定に達しない」の割合が圧倒的に高い。ついで「経費の増大」「借入返済が大きい」となっている。
- (4) ここ 1 年間に、元請等との取引条件に変化があると回答した企業は、29.8%(13.5 ポイント増加)で、「仕入れ先からの価格の引き上げ」が 14.2 ポイントと大幅に増加(25%)した。「あまり変化はなかった」が 69.1%(12.5 ポイント減少)だった。
- (5) 2019 年 10 月の消費税増税の影響予想では、「深刻」「かなり」の合計で 46.0%、「少し」を加えると 85.4%(3.7 ポイント減少)が影響を予想している。
- (6) 経営課題では「販売の強化」(54.3%)、「人材の確保・育成」(40.4%)、「経費削減」(37.0%)が 3 大課題で、「事業承継」「設備投資」「商品・サービス開発」が続いている。

### 2. 金融機関との取引及び借入状況について

- (1) 昨年12月末と比べ、借入額では「減少」が49.2%で「増加」の27.4%を上回り、減少傾向が続いている。「借入なし」は29.1%となり、前回は0.9ポイント増加した。
- (2) 最近6ヶ月間の借入申し込みを「した」は36.4%で、借入金利は「下がった」が8.9%で「上がった」の3.8%をかなり上回り、借入金利の低下傾向は続いている。借入の満足度は、「非常に満足」と「まあ満足」と回答した企業の割合は91.2%で高水準である。「満足できなかった」は2.3ポイント増加の4.0%だった。
- (3) マイナス金利政策による金融機関の姿勢の変化では、「融資に積極的」が18.0%で「消極的」の3.2%を大きく上回った。「変わらない」が77.6%でやや増加した。
- (4) 「貸し渋り」の有無は、「ある」が4.9ポイント増加の16.5%で、2年連続の増加となった。「貸し渋り」の複数回答では「追加融資不可」「既往貸付の回収」「保証協会の付保」の順に多い。
- (5) 借りにくい、借りられない理由では、「業績が思わしくない」「借入残高が多い」の2項目が主な要因となっている。
- (6) 借入返済の条件変更に対しては、「希望する」企業が1.1ポイント減少の8.9%で、希望する条件変更は「返済期間の延長」「長期資金への切替」「元金返済の一時据置（猶予）」の順だった。条件変更の難易度では、「容易である」と「交渉次第で何とかなる」で5.7ポイント増加の78.7%となる。「難しい」は2.5ポイント減少の16.4%だった。
- (7) 金融円滑化法終了後の審査については、「借りやすくなった」「変わらない」「厳しくなったが融資を受けられた」の合計は93.9%で前回は0.7ポイント増加、金融機関の支援姿勢に変化はない。
- (8) 今後の借入計画（1年間）では、「ある」と回答した企業は3.2ポイント減少（18.1%）した。設備資金では、「計画あり」はほぼ横ばいの19.5%。「新事業に取り組む為の設備投資」は5.5ポイント増加の11.7%となった。
- (9) 借入時の重視事項では、「金利が低い」「条件が有利」の直接条件が重視されているが、「経営上の相談が得られる」や「日頃のつきあい」の間接条件も高い水準である。
- (10) 借入を考える場合の懸念材料では、「業況の先行見通し難(60.9%)」「借入後の返済力(59.8%)」の2項目が依然高水準である。「後継者難」は2.3ポイント増加の6.7%だった。

### 3. 融資制度について

- (1) 国・県・市町村の融資制度の過去1年以内の利用状況は、前回調査と比べると「利用がある」は22.2%(1.6ポイント減少)、「利用がない」は1.4ポイント増

加の 76.0%となった。融資制度について、借入れ条件の緩和、現状の金利水準にあった融資、融資期間の長期化等の希望意見があった。

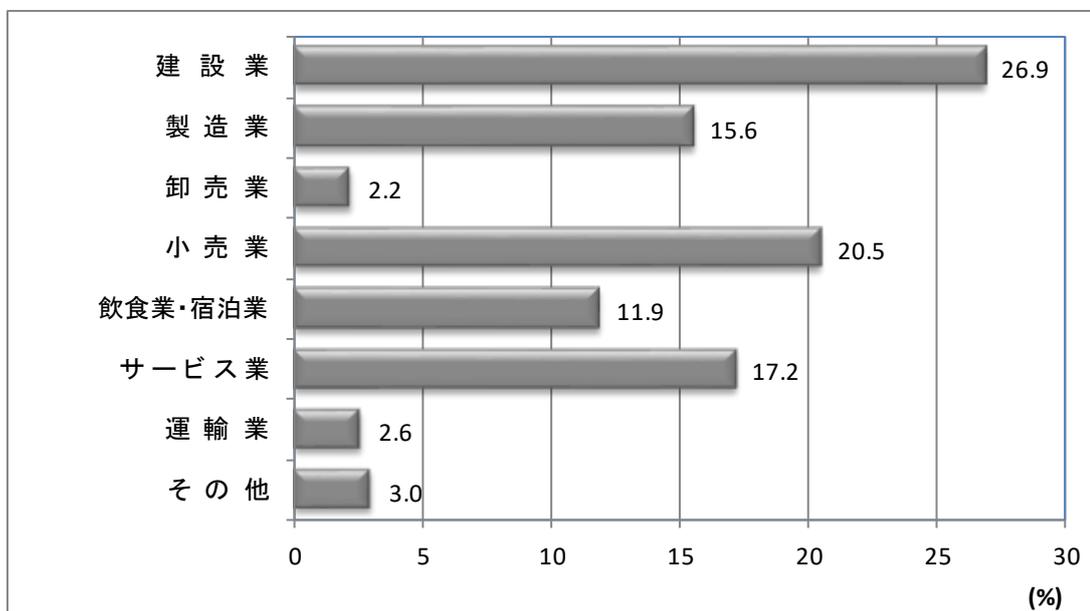
- (2) 国や県、市町村の融資制度は、「経営の役に立っている」と回答した企業は 95.5% を占めた。「利用しなかった理由」として、「利用する必要がなかった」が 62.3% 「制度融資を知らなかった」が 5.5%だった。
- (3) マル経融資は「(大変)役に立っている」が 55.8%だが、「知らなかった」は 22.6% あった。
- (4) 信用保証協会の保証利用は 17.0%で前回比やや減少した。  
「円滑に融資が受けられた」と「少し難しかったが受けられた」の合計は 97.0% の高い水準だった。
- (5) 保証協会の融資態度の変化については、「変わらない」は 76.2%と高い。「対応が丁寧」の評価意見が合計で 3.0 ポイント増加の 8.9%となり、「審査が厳しくなった」が 5.4 ポイント増加の 6.5%だった。他に、保証料、金利の引下げの希望が多かった。

#### 4. 最近の諸制度について

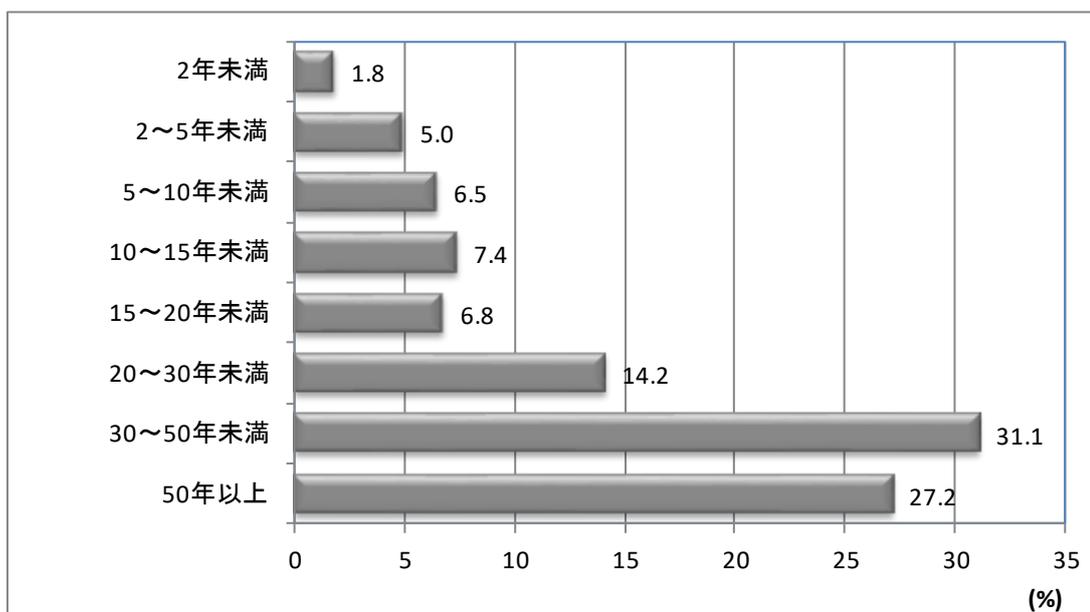
- (1) ビジネス創造支援事業の専門家派遣では「利用した」「相談したい」「説明を受けたい」の合計が 2.6 ポイント減少の 16.9%で、やや一巡感がみられる。
- (2) 事業引継ぎ支援センターを「知っている」は 2.0 ポイント増加の 25.2%で、認知度は高まっている。  
後継者の対策では、「事業承継も廃業も必要なし」と「事業承継も廃業も検討していない」の合計は 51.8%。残る全体の約半数が事業承継か廃業を検討中で、うち「後継者決定」「後継者候補がいる」の合計は 24.0%だった。「後継者がいない」「承継したいができない」の対応苦慮先の合計は 8.4%だった。
- (3) 最近の補助金制度については、「すでに活用している」「今後、申請予定」の合計が 28.5%(1.3 ポイント増加)となり活用は高まっている。
- (4) 経営力向上計画では、「申請・認定を受けた」は 4.7%で製造業が多かった。「説明を受けたい」は 15.5%で、卸売業、製造業、運輸業が多い。
- (5) キュッシュレス決済の導入予定では、「キュッシュレスの必要なし」を除いた場合、「強化予定」「導入予定」「対応完了」の合計は 39.6%となった。業種別では飲食店・宿泊業、小売業、サービス業の順に多かった。「対応しない」も 60.3%と高水準だった。
- (6) 首都圏等の在住で富山県への U I J ターン存在では 94.3%が「いない」と回答した。

## 1 回答企業の概要

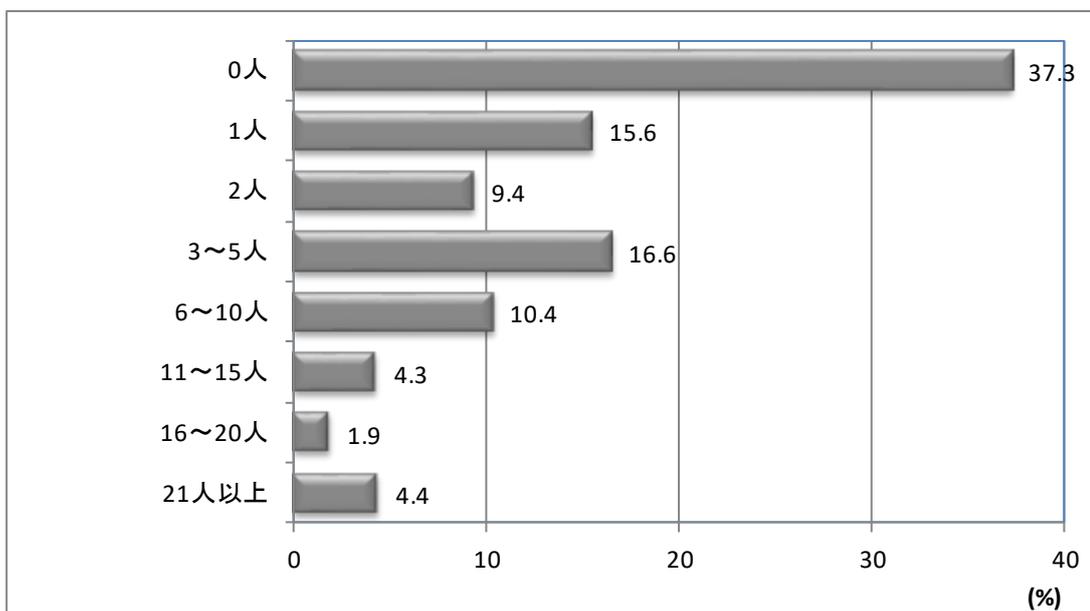
### (1) 業種



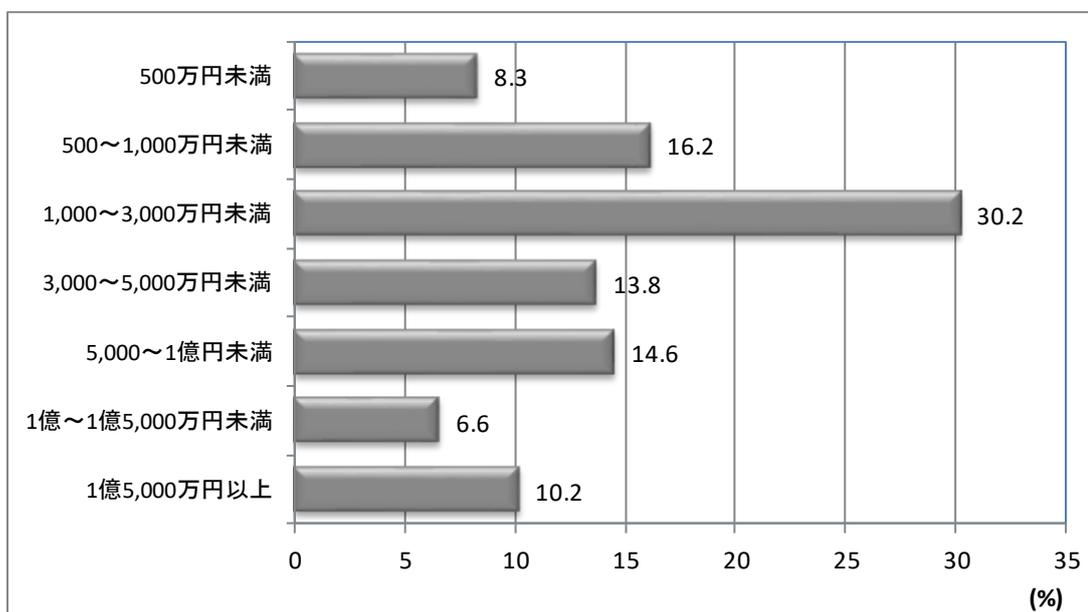
### (2) 創業してから何年



### (3) 常用従業員



### (4) 年間売上高

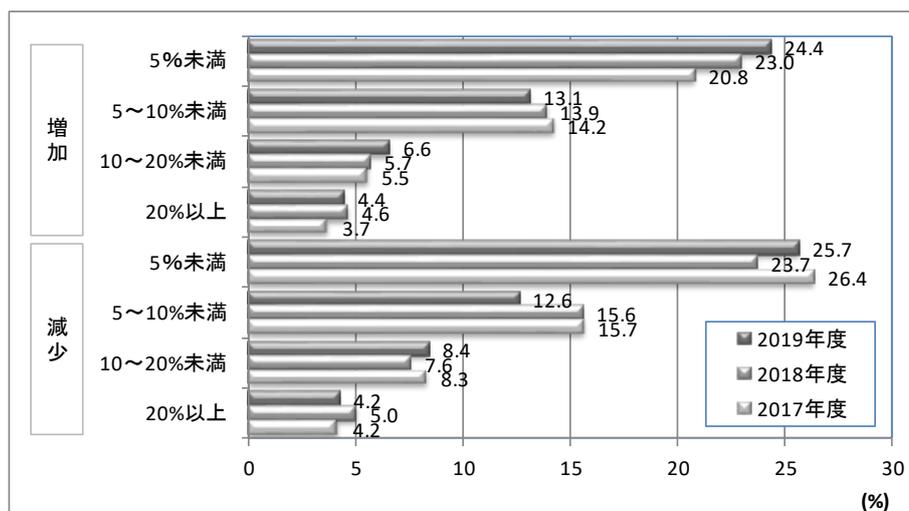


## 2 営業の状況

### (1) 年間売上高の増減率（対前回比）

売上増加企業は、前回比 1.3 ポイント増加の 48.5%となった。売上減少は前回比 2.0 ポイント減少の 50.9%となった。

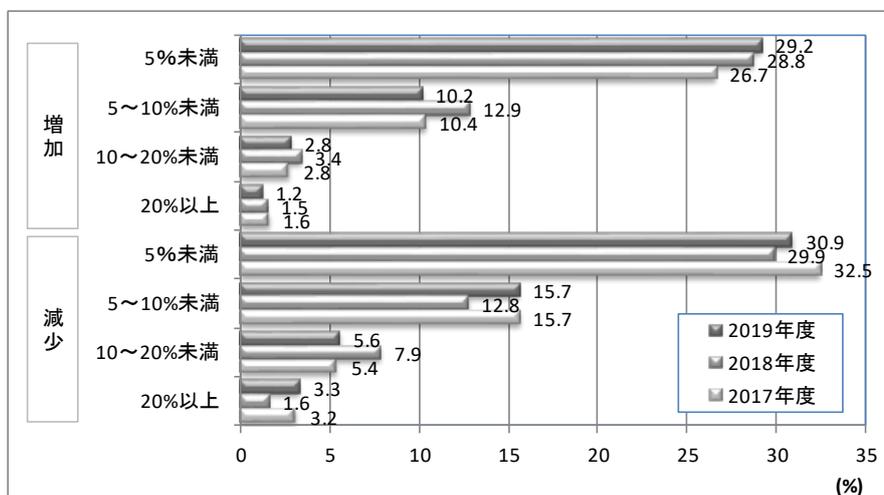
業種別に見ると、「増加」は、卸売業、建設業が多く、「減少」は小売業、飲食・宿泊業、サービス業の順で多い。従業員規模別では、「21人以上」「16～20人」の比較的大きいクラスが増加した。全体では、やや回復傾向である。



### (2) 今後の売上高予想

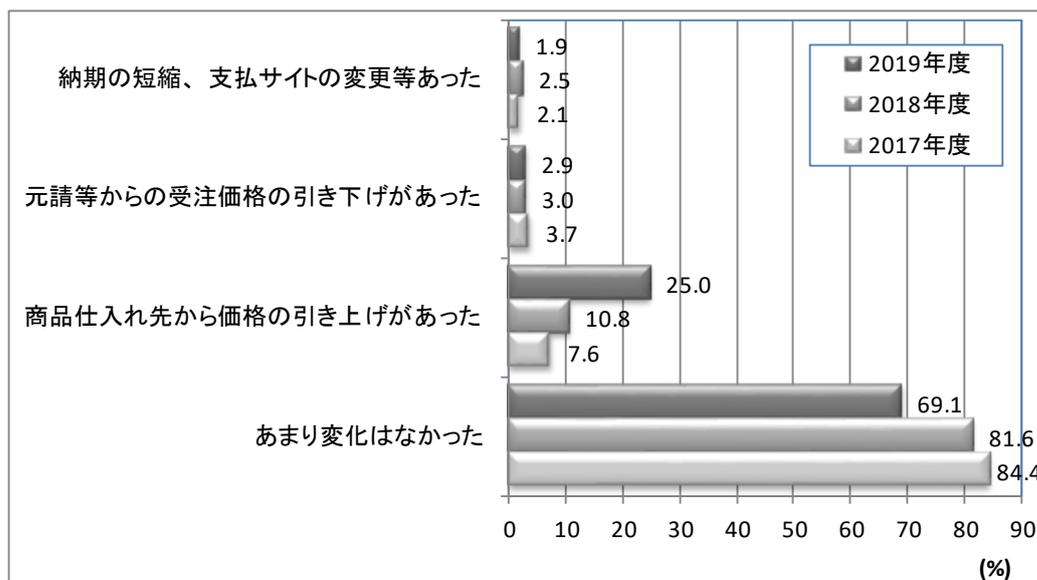
今後の景気の先行きを踏まえた売上高予想の質問に対して、増加すると回答した割合は全体の 43.4%で前回比 3.2 ポイント減少した。減少すると回答した割合は全体の 55.5%で、前回より 3.3%ポイント増加。先行き厳しい見方が多い。

業種別に見ると運輸業、建設業が「増加」が「減少」を上回り、「減少」予想は小売業、卸売業、飲食・宿泊業、製造業の順に多かった。従業員規模別では、「0」「1～2人以下」の減少予想が多く、増加予想が多いのは「21人以上」のクラスだった。



### (3) 取引条件の変更状況

ここ1年間の商品仕入れ先、工事元請先、製造発注元等との取引条件の変更状況では前回比13.5ポイント増加の29.8%がなんらかの取引条件の変更を強いられた。とくに「仕入れ先からの価格の引き上げ」が14.2ポイント増加の25%となり、業種別では製造業、飲食・宿泊業、建設業が多かった。69.1%(12.5ポイント減少)が変化はなかったと回答。

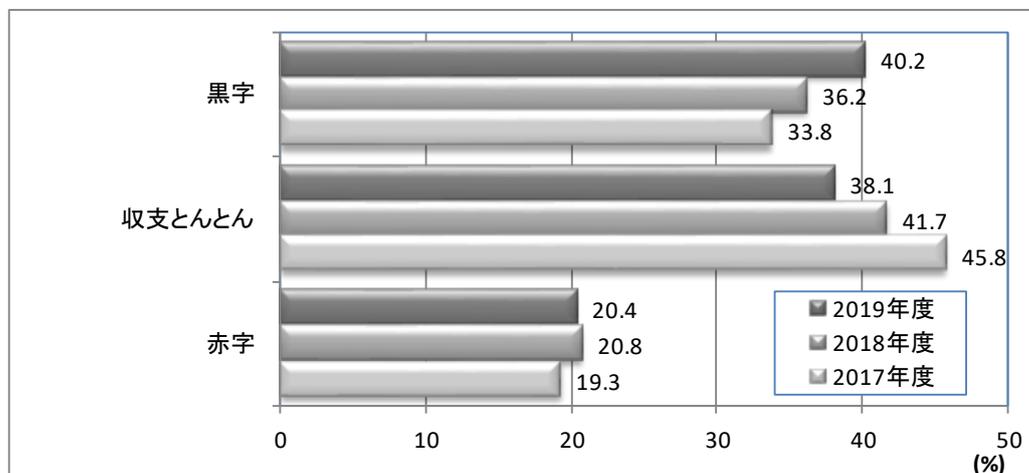


### (4) 採算の状況

#### ア、現在の採算状況

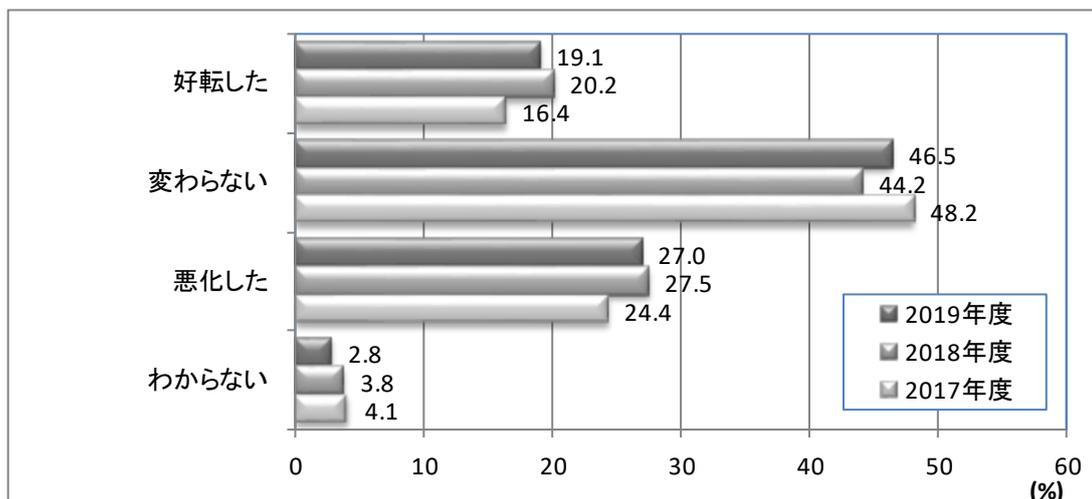
黒字と回答した割合は40.2%と前回比4.0ポイント増加した。赤字と回答した割合は20.4%と前回比0.4ポイント減少し、収支とんとは前回比3.6ポイント減少した。黒字企業を業種別にみるとサービス業、建設業、運輸業、赤字企業では卸売業、小売業の順になっている。

また従業員規模別での黒字企業は、「16~20人」「21人以上」の順で比率が高く、比較的従業員の多い規模で黒字企業の割合が高い。



### イ、採算状況（対前回比較）

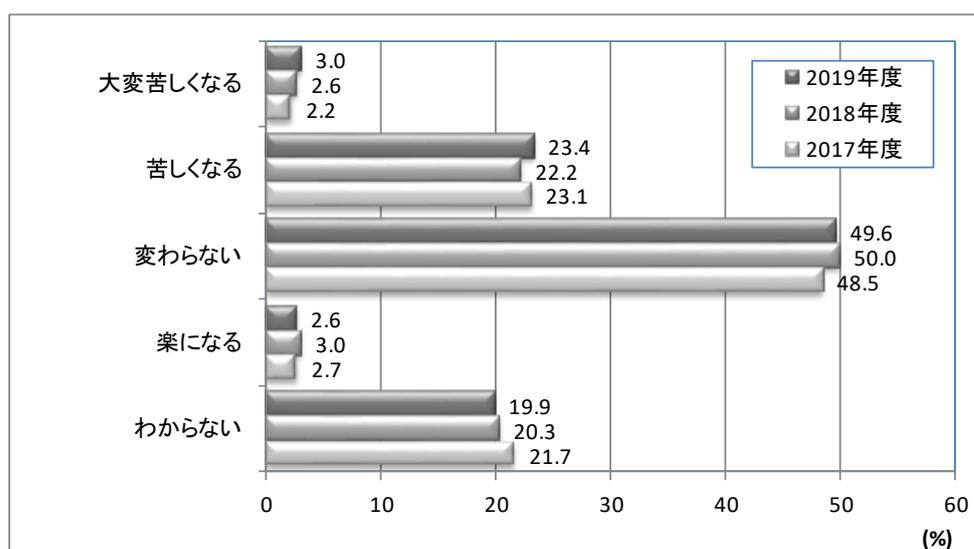
採算状況は、「好転した」が1.1ポイント減少（19.1%）したが、「悪化した」も0.5ポイント減少（27.0%）した。変わらないは2.3ポイント増加（46.5%）した。業種別では、建設業が「好転」割合が高く、「悪化した」のは卸売業、小売業、製造業の割合が高かった。



### (5) 資金繰り状況

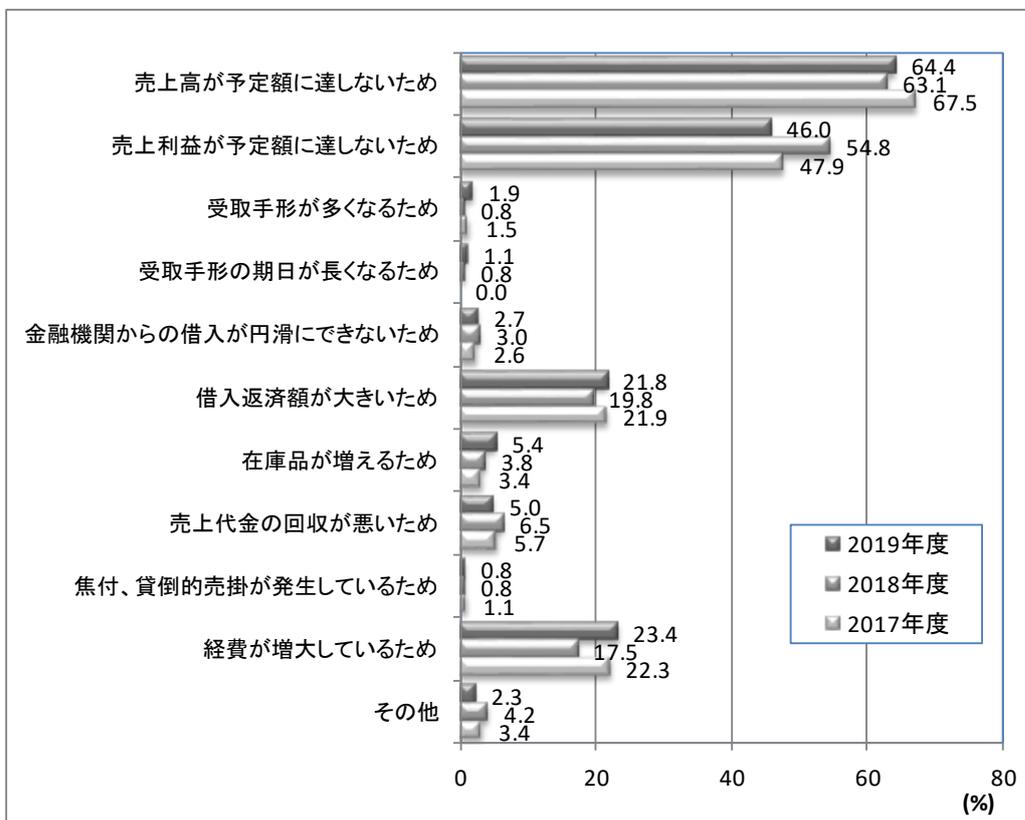
#### ア、今年10～12月の資金繰り予想

「大変苦しくなる」と「苦しくなる」の合計では、前回より2.0ポイント増加の26.8%となる。「変わらない」が0.4ポイント減少して49.6%。「楽になる」は前回より0.4ポイント減少の2.6%に止まった。「大変苦しくなる」「苦しくなる」を業種別でみると、卸売業、運輸業、小売業の順で高い。



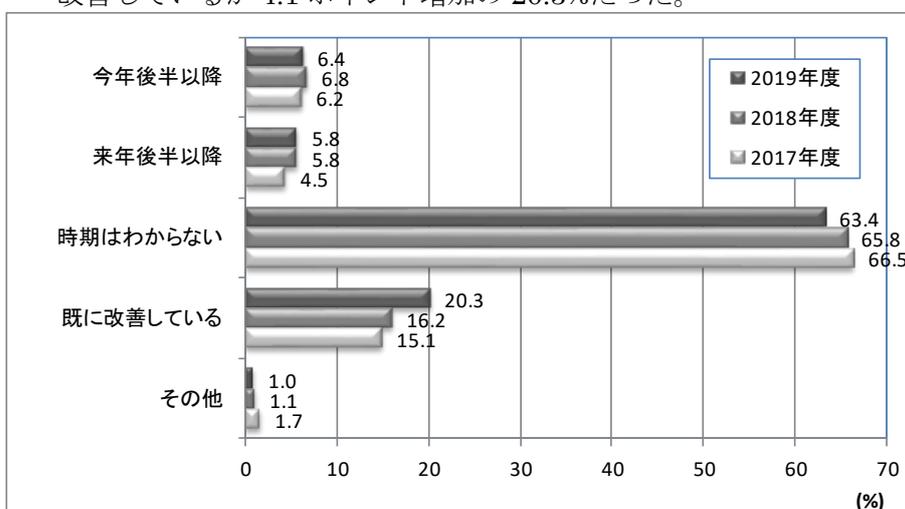
### イ、資金繰りが苦しくなる原因（2つ以内で回答）

「苦しくなる」理由は、「売上が予定額に達しない」と「売上利益が予定額に達しない」が大きく、ついで「経費の増大」「借入返済額が大きい」となっている。その他では「冬期の仕事切れ」「リース料金負担」「設備不調」「消費税増税」等があった。



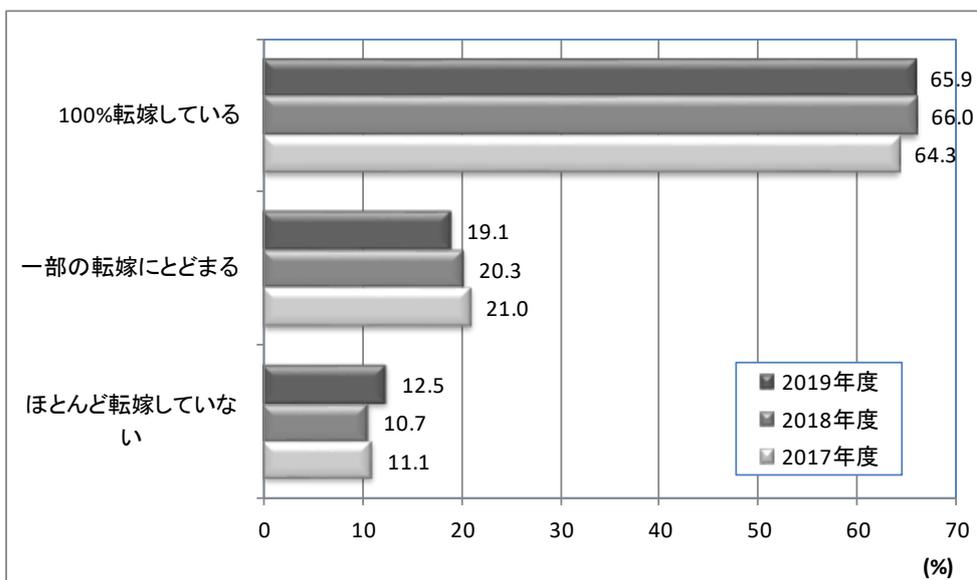
### ウ、資金繰りが改善する時期

改善する時期は、「時期がわからない」が63.4%で2.4ポイント減少し、すでに改善しているが4.1ポイント増加の20.3%だった。



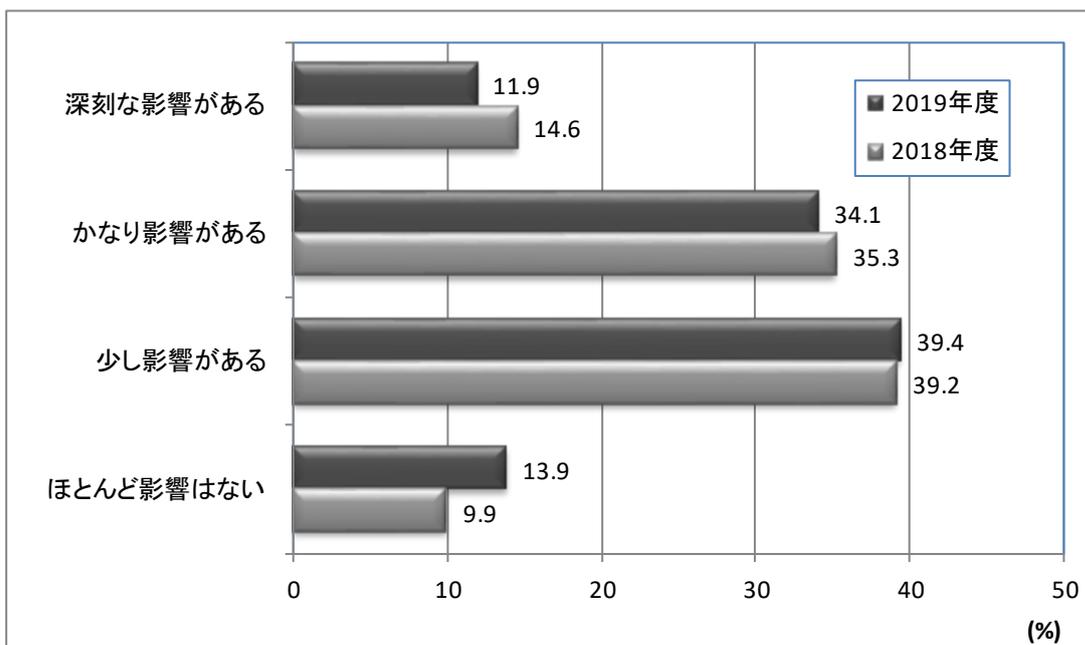
**(6) 2014年4月の消費税増税の転嫁の状況について**

「一部の転嫁にとどまる」と「ほとんど転嫁していない」の合計は31.6%と0.6ポイント増加した。業種では卸売業、飲食・宿泊業が多い。100%転嫁企業の業種別では、製造業、建設業、運輸業が多い。



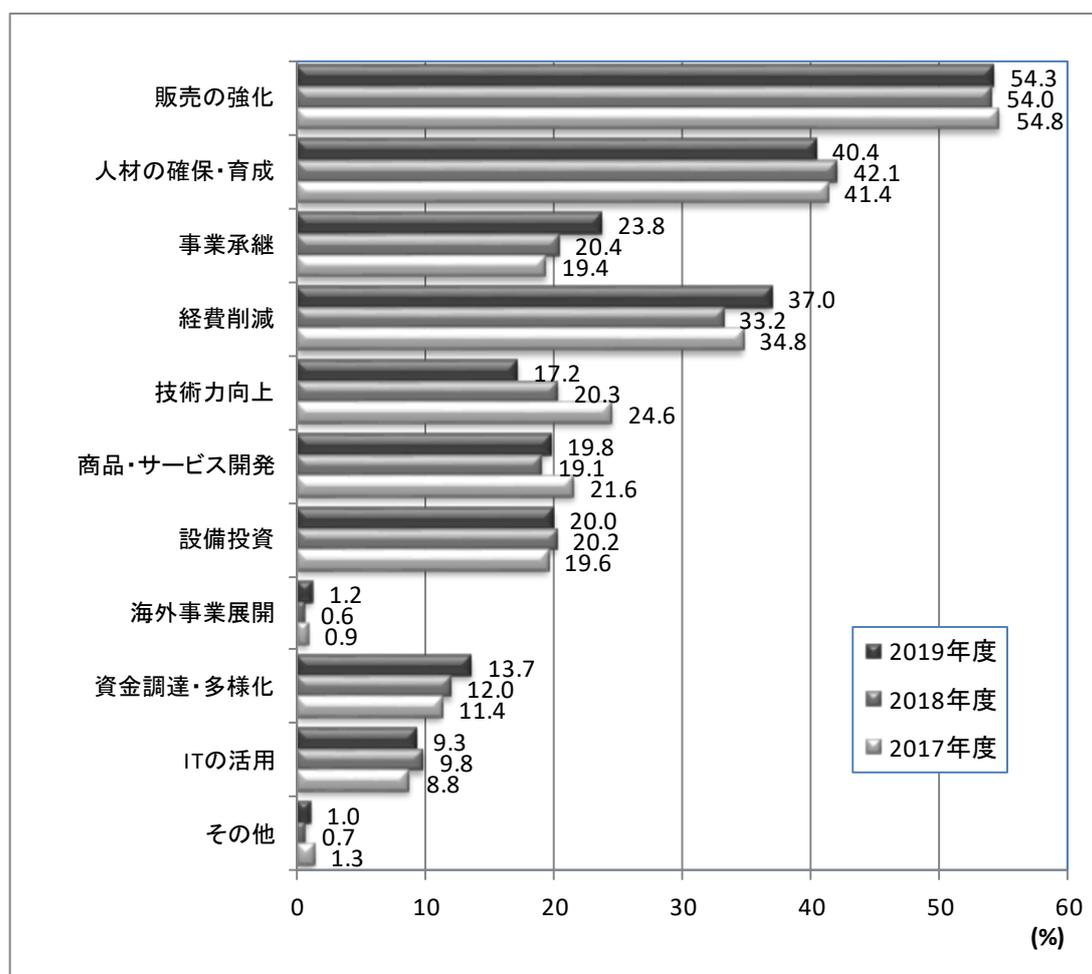
**(7) 2019年10月の消費税増税の影響予想について**

「深刻な影響」と「かなり影響がある」で46.0%、「少し影響がある」を加えると85.4%(前回比3.7ポイント減少)が影響ありと予想している。「深刻な影響」の業種別では小売業、飲食・宿泊業が多く、従業員規模別では小規模クラスほど危機感が高い。



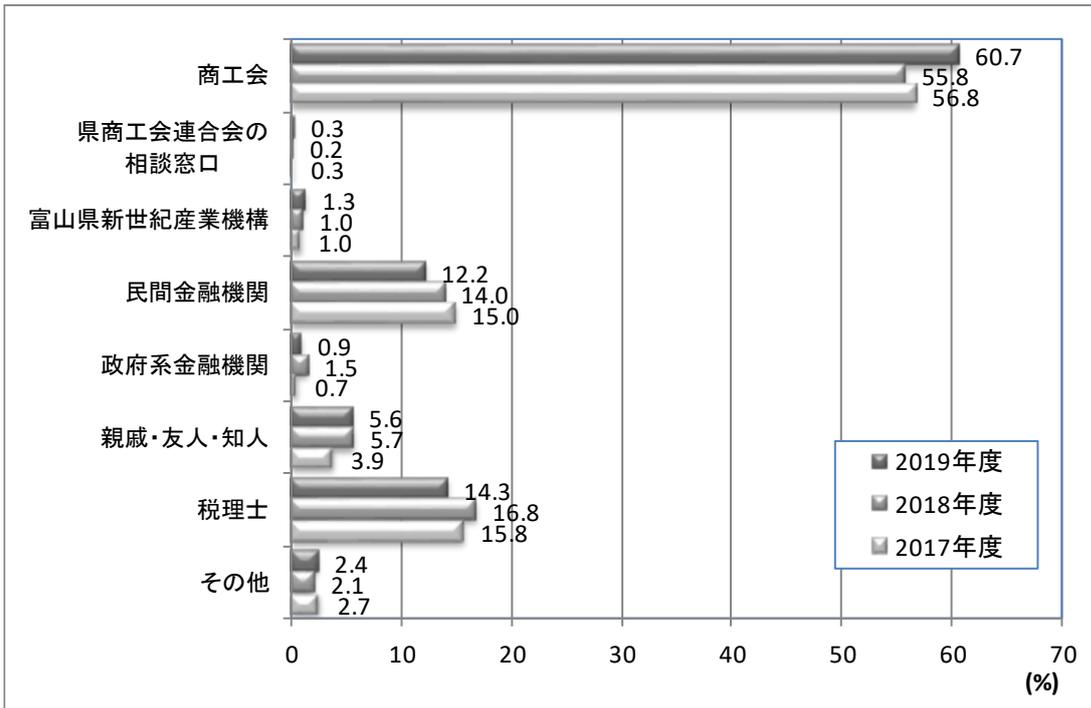
### (8) 現在の経営課題について (3つ以内回答)

「販売の強化」「人材の確保・育成」「経費削減」が大きい3課題である。3課題以外では「事業承継」「設備投資」「商品・サービス開発」が大きい。表以外では、「業務の効率化」「地域の人口減」があった。



### (9) 経営が著しく悪化した場合の相談先

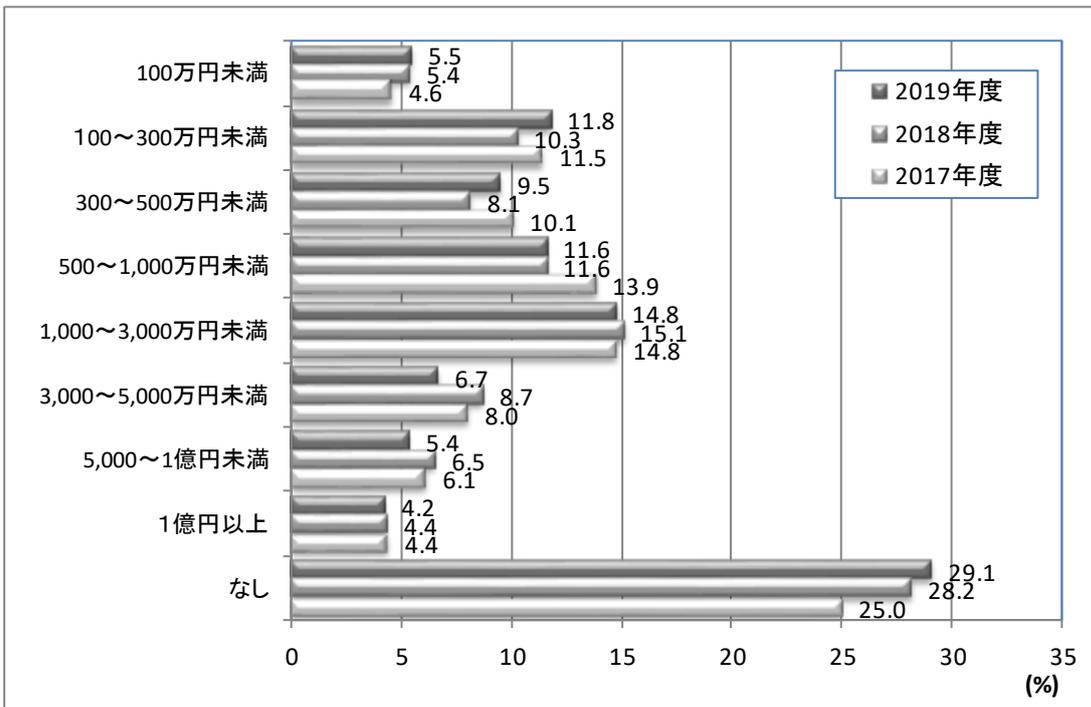
先行きに問題が生じたとき、相談に行くところでは商工会、税理士、民間金融機関が多かった。その他では、経営コンサルタント、中小企業診断士、同業者、組合、先輩等があげられた。



### 3 金融機関との取引状況 等

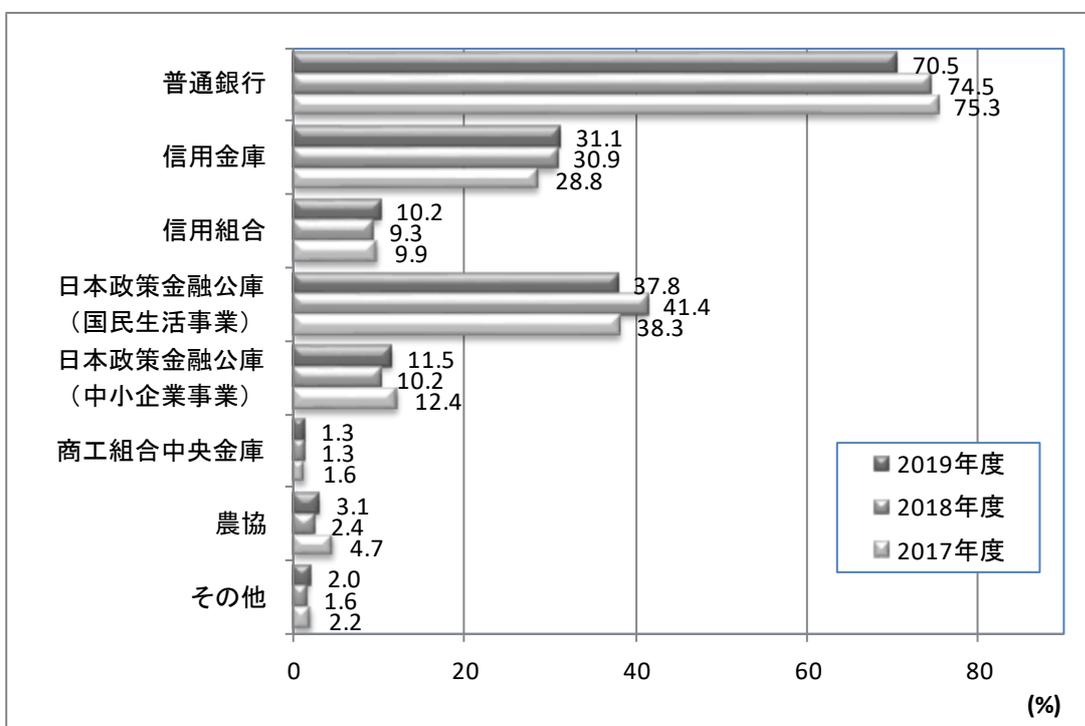
#### (1) 本年6月末の借入額はどのくらいありましたか

「借入なし」は0.9ポイント増加の29.1%で、業種別では小売業、サービス業、製造業の順に多かった。



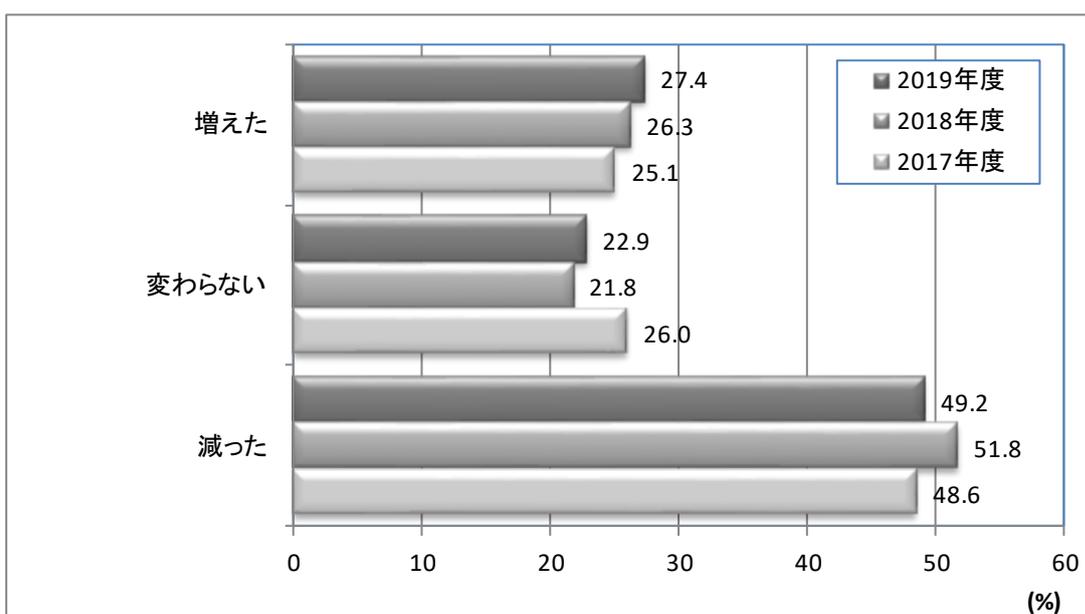
(2) 現在の借入先はどこですか (多い順に3つ回答)

普通銀行が70.5%、日本政策金融公庫(国民生活事業)が37.8%。信用金庫が31.1%で、前回比シェアの変化は少ない。その他にはリース会社、親戚等があった。



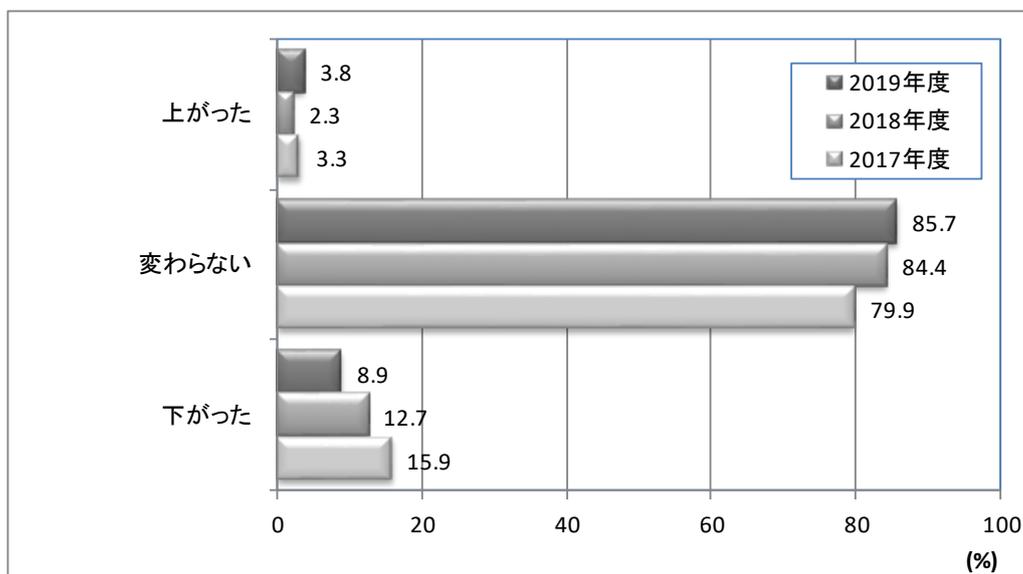
(3) 借入額増減は (昨年12月頃に比べて)

「増えた」27.4%、「減った」49.2%、「変わらない」22.9%となった。「減った」が「増えた」を10年連続で大幅に上回った。「減った」企業の割合は小売業、飲食・宿泊業、建設業の順で多かった。



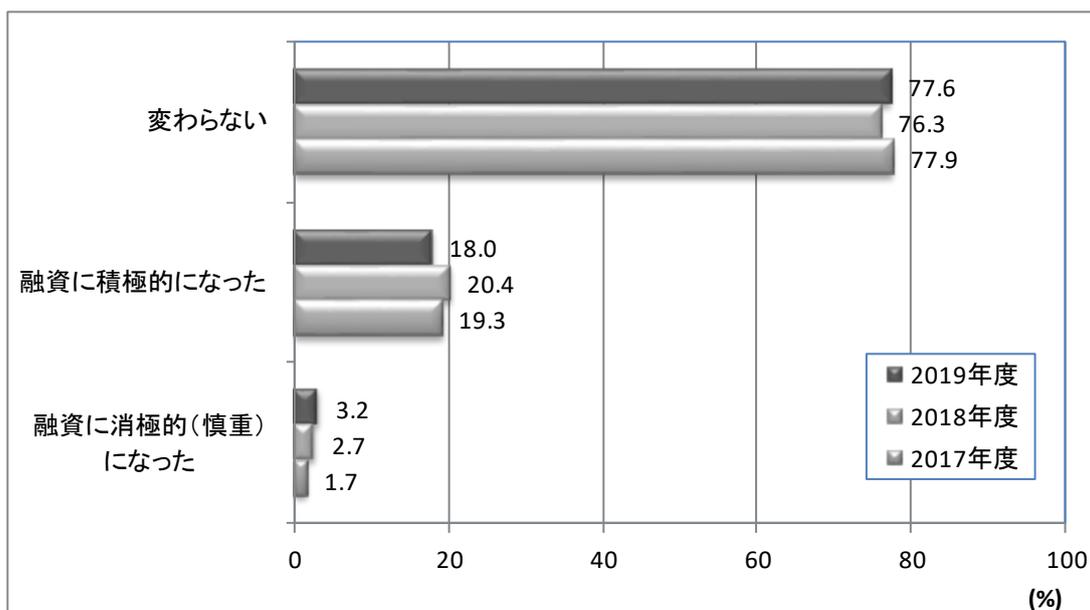
#### (4) 金利は（昨年12月頃に比べて）

「下がった」は8.9%で、「上がった」割合3.8%を上回っており、低下傾向は続いている。また、「変わらない」が1.3ポイント増加し85.7%となった。



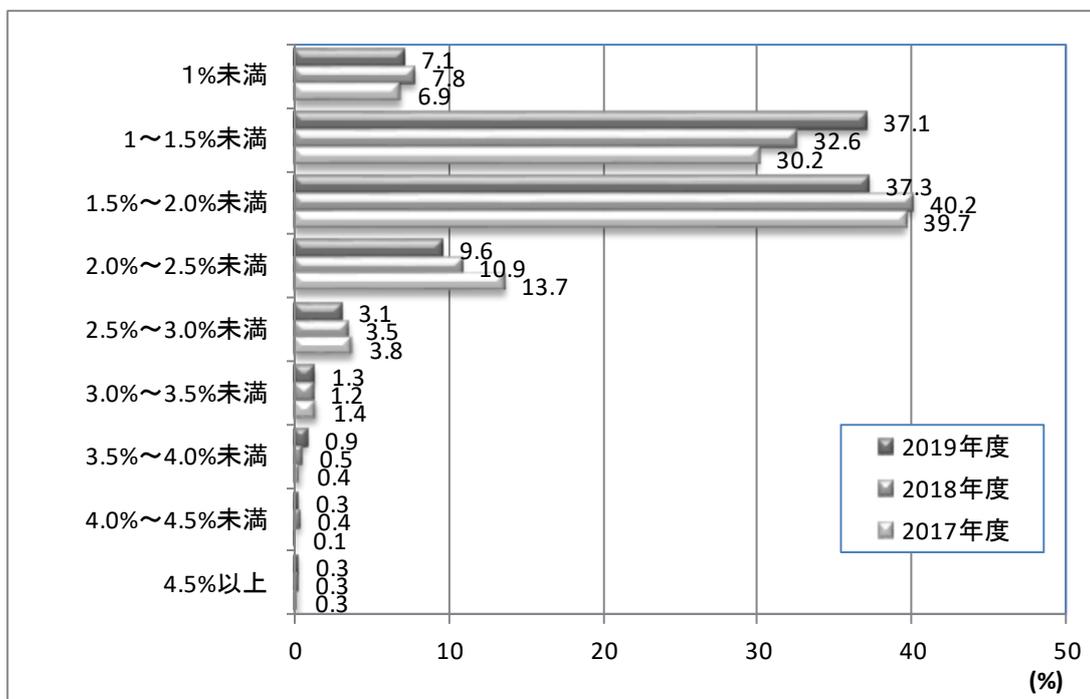
#### (5) 平成28年2月の日銀のマイナス金利政策で金融機関の姿勢に変化はありますか

「融資が積極的になった」が2.4ポイント減少の18.0%で、「消極的になった」の3.2%を大きく上回った。変わらないが77.6%だった。



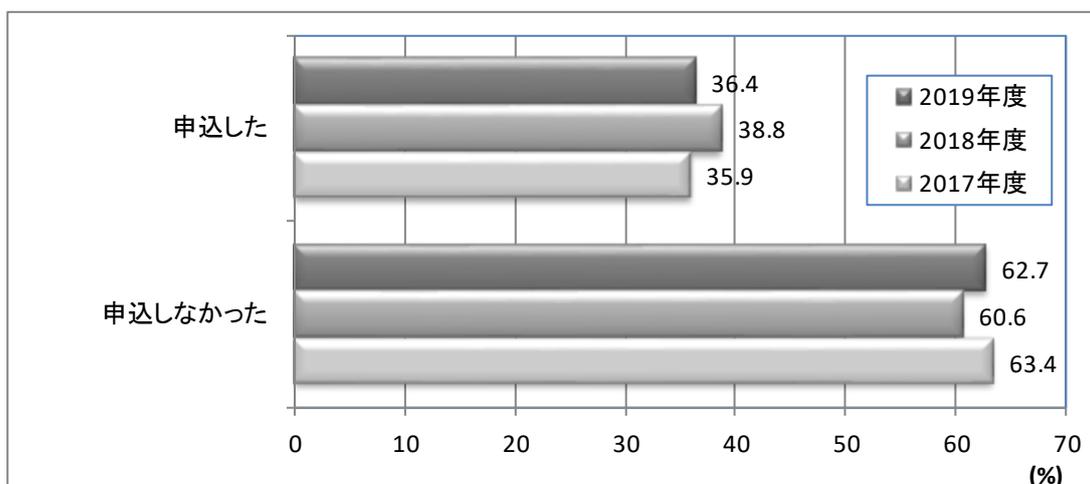
### (6) 現在の借入金利（平均）

平均金利は、「1.5%～2.0%未満」が最も多い。「1.0～1.5%未満」が4.5ポイント増加の37.1%だった。1%未満は0.7ポイント減少し7.1%となり、3.0%以上の割合は全体の2.8%で0.4ポイント増加するなど、一部に下げ止まり感か出てきた。



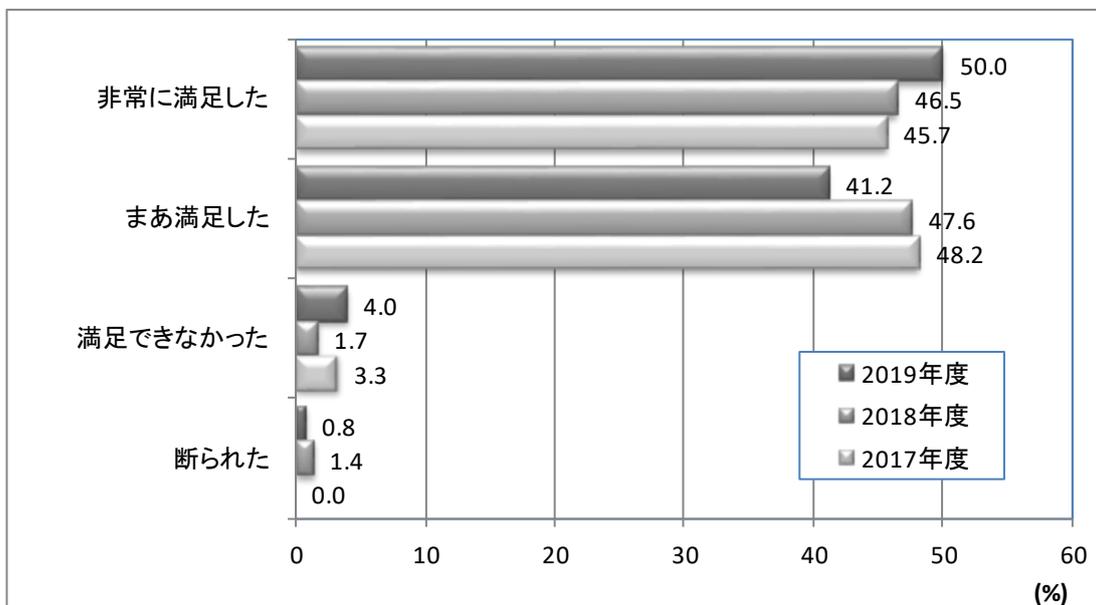
### (7) 最近6ヶ月間の借入申込（借入申込実績）

「申込した」割合は前回比2.4ポイント減少の36.4%だった。業種別では運輸業、製造業、卸売業の順で40%以上の割合で借入申込をしたと回答。「申込しなかった」は2.1ポイント増加し、業種では飲食・宿泊業、小売業、サービス業が多かった。



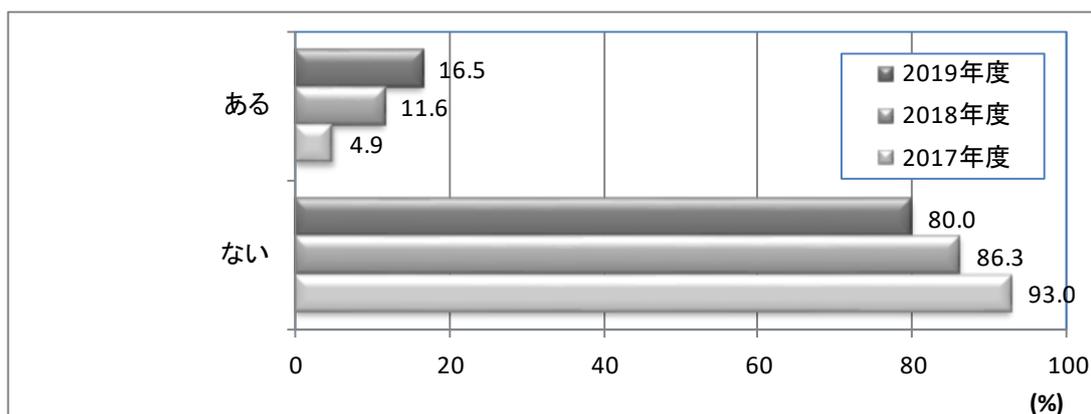
### (8) 借入の満足度

「非常に満足」「まあ満足」の合計は、2.9ポイント減少したが91.2%の高水準だった。「満足できなかった」は2.3ポイント増加の4.0%だった。「断られた」は0.8%だった。



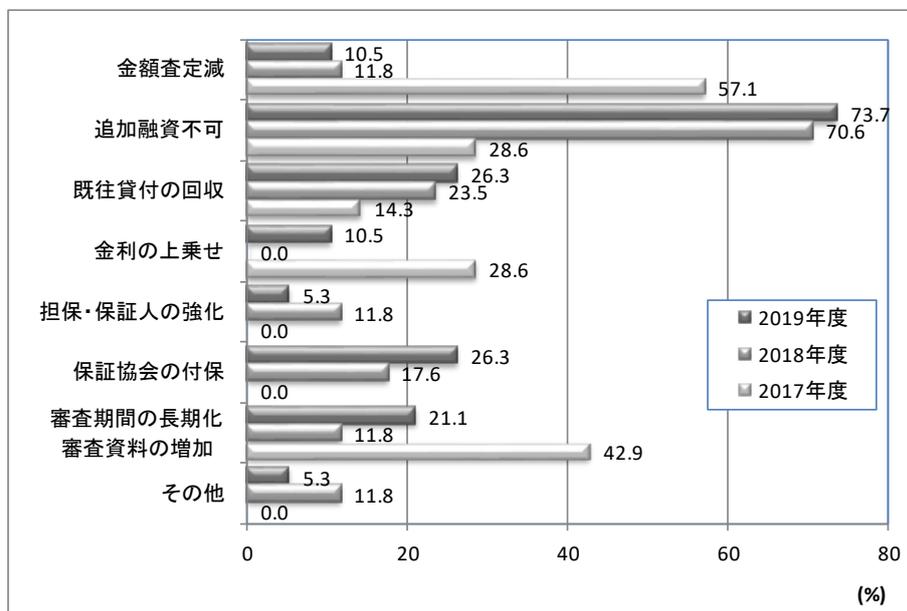
### (9) 「貸し渋り」の有無

「ある」が前回より4.9ポイント増加の16.5%。「ない」は6.3ポイント減少の80.0%となった。「ある」を従業員規模別で見ると「1人」「2人」の小規模クラスの割合が高い。



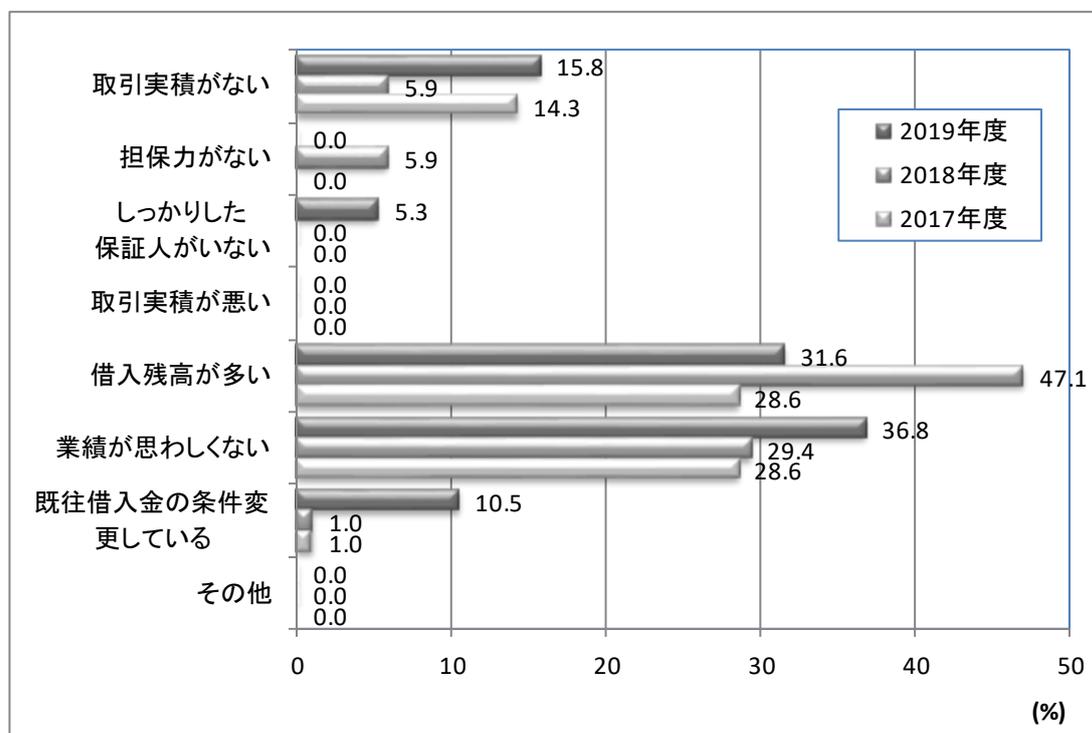
(10) 「貸し渋り」の内容（3つの複数回答）

「追加融資不可」「既往貸付の回収」「保証協会付保」が多かった。



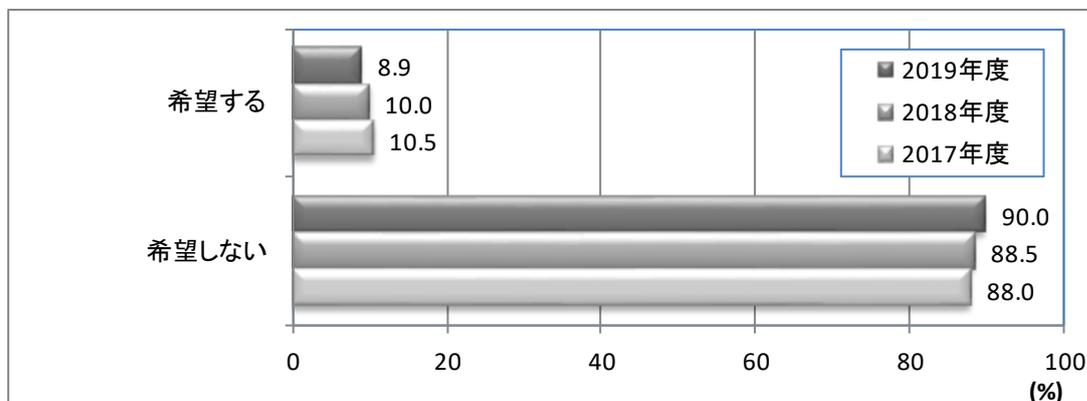
(11) 借りにくい、借りられない理由（回答数構成比）

「業績が思わしくない」が36.8%、「借入残高が多い」が31.6%で、2項目が主な要因となっている。他に「取引実績がない」「既往借入の条件変更」が多かった。



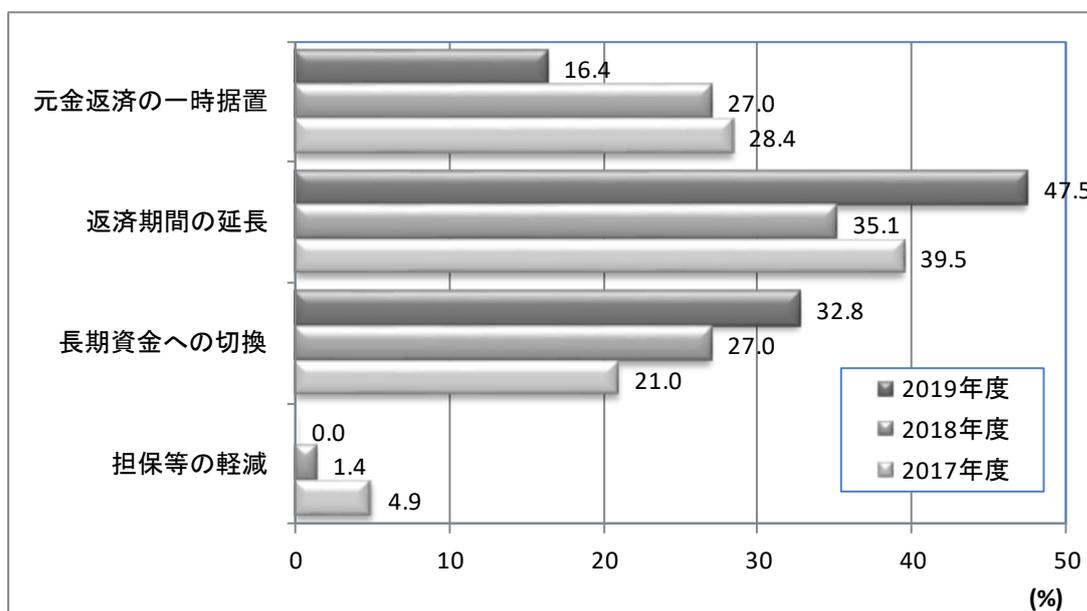
### (12) 借入返済の条件変更（希望の有無）

条件変更を「希望する」企業の割合が、前回調査と比べ 1.1 ポイント減少の 8.9 %で、条件変更を「希望する」業種では製造業、運輸業、卸売業の順が多かった。



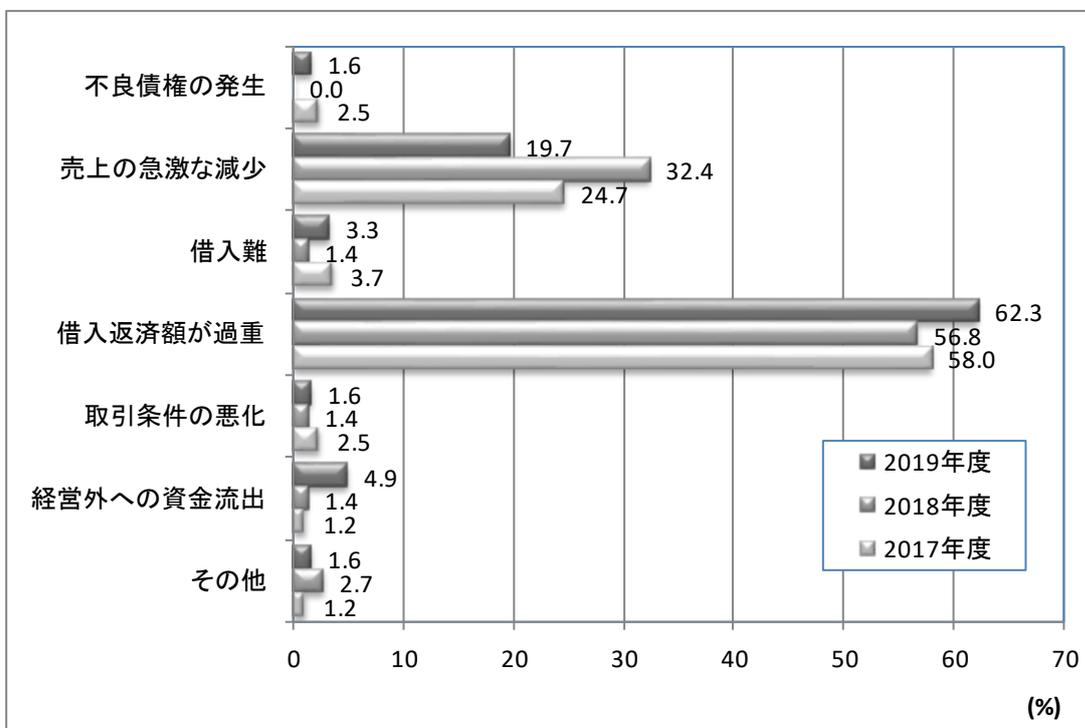
### (13) 希望する条件変更

「返済期間の延長」は 47.5%、「長期資金への切換」は 32.8%、「元金返済の一時据置（猶予）」は 16.4%だった。



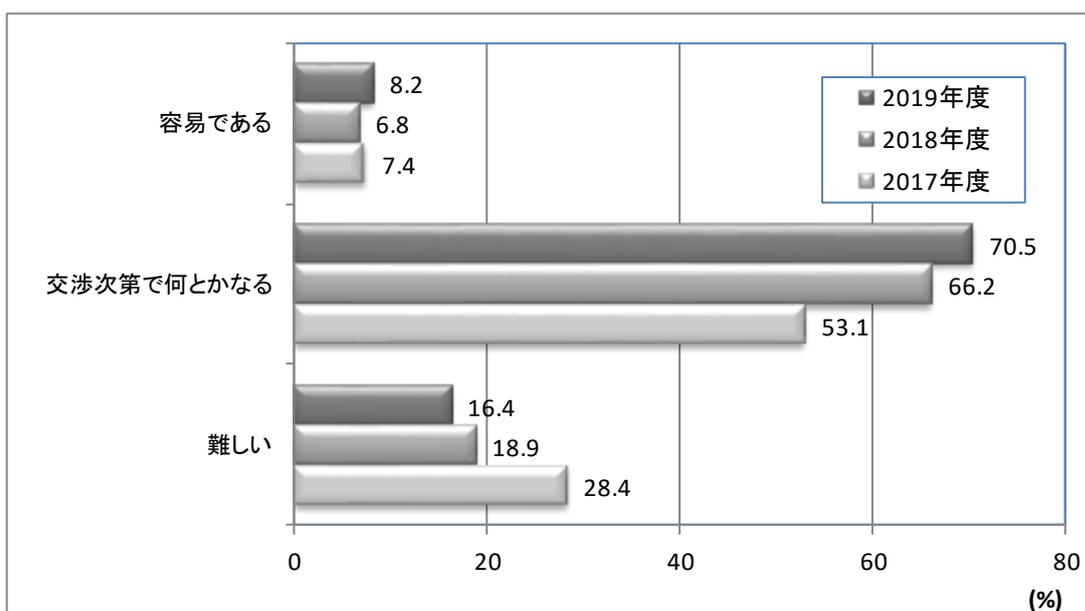
#### (14) 条件変更を希望する理由

「借入返済額が過重」が62.3%と高水準である。「売上の急激な減少」が前回比12.7ポイント減少の19.7%となったが、条件変更を希望する2大要因になっている。



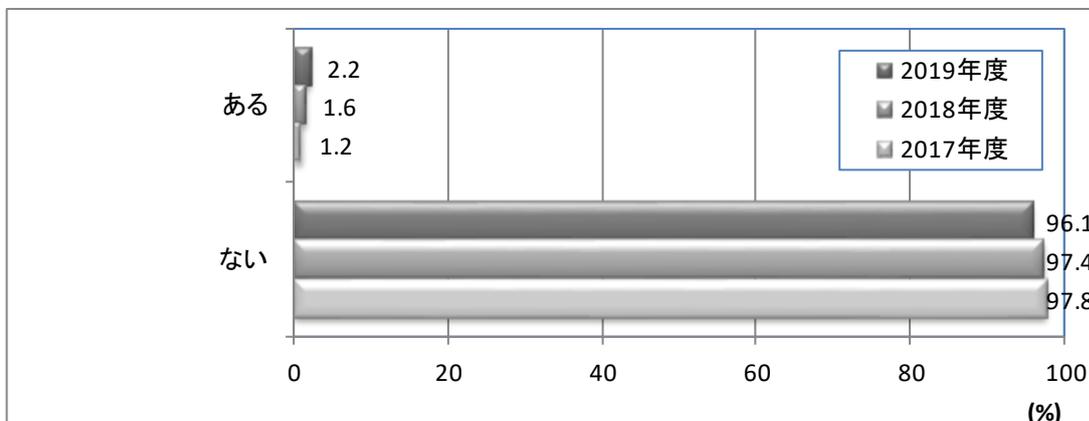
#### (15) 条件変更の難易度

前回調査と比べ、「容易である」と「交渉次第で何とかなる」の合計は5.7ポイント増加の78.7%となる。「難しい」は2.5ポイント減少の16.4%で3年連続の低下となった。意見に「手数料が発生する」があった。



(16) 金融機関からの借入金返還要求の有無

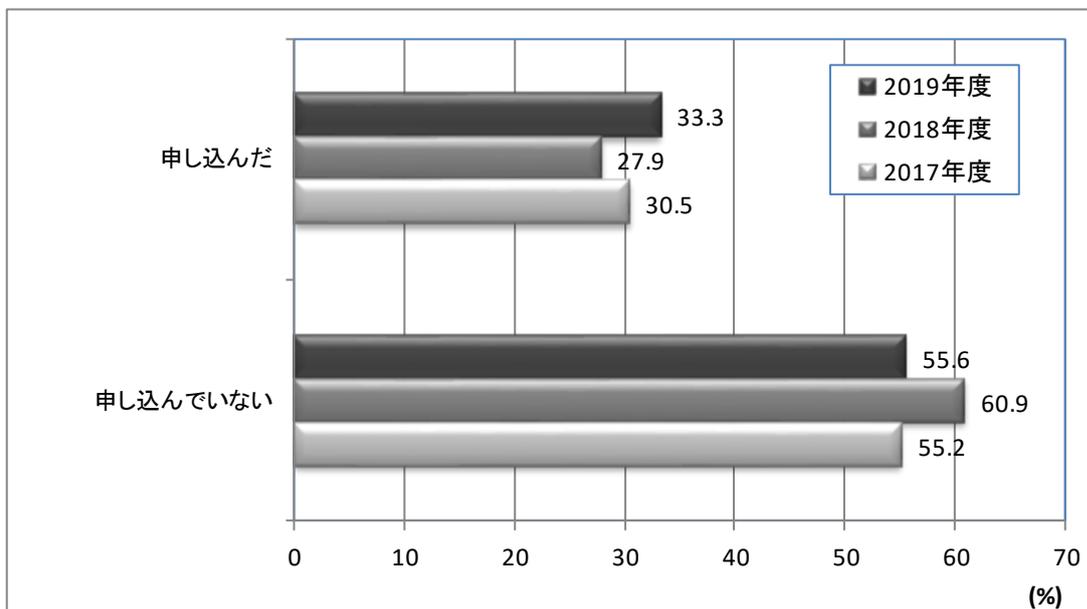
「ない」が96.1%と圧倒的に高い。



(17) 金融円滑化法終了（平成25年3月）後のことについておたずねします

ア、円滑化法終了後の融資状況についておたずねします

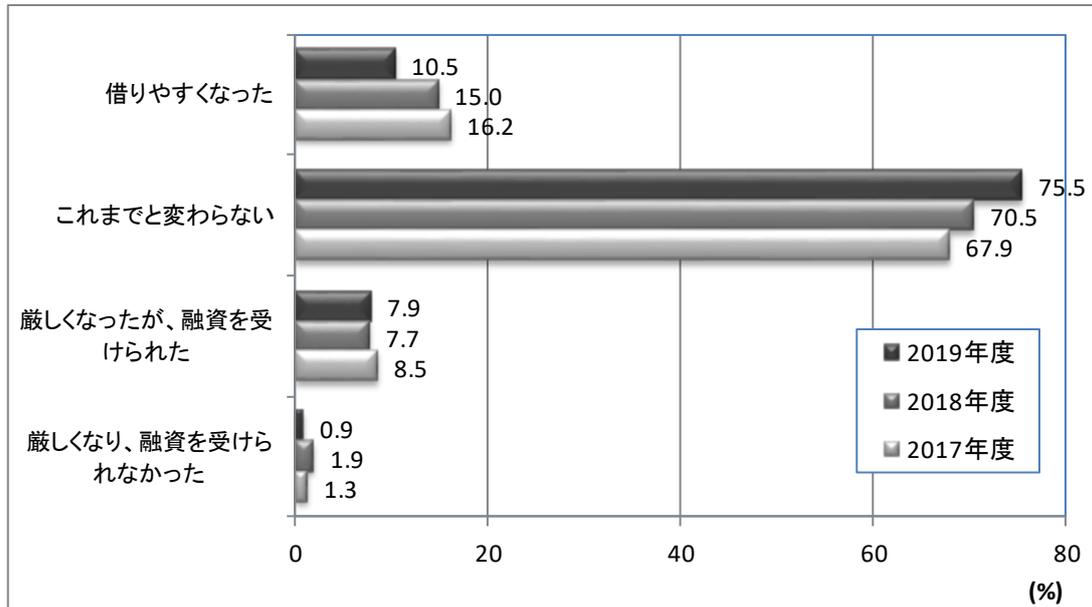
「貸付条件等の変更や新規融資を申し込んだ」は33.3%、「申し込んでいない」が55.6%だった。



イ、金融機関の審査についておたずねします

「借りやすくなった」と「これまでと変わらない」「厳しくなったが、融資を受けられた」の合計は93.9%で0.7ポイント増加した。

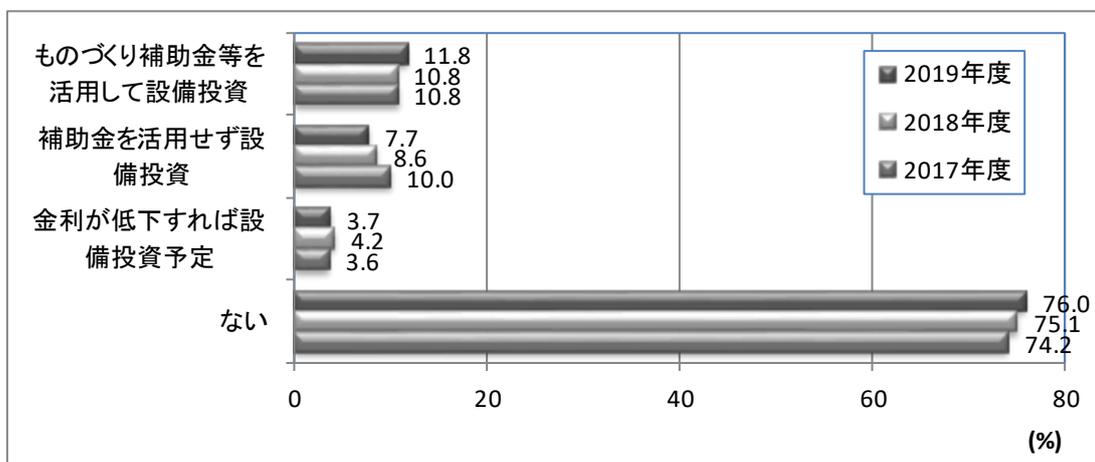
「融資を受けられなかった」は前期比1.0ポイント減少の0.9%となった。



#### 4 借入計画 等

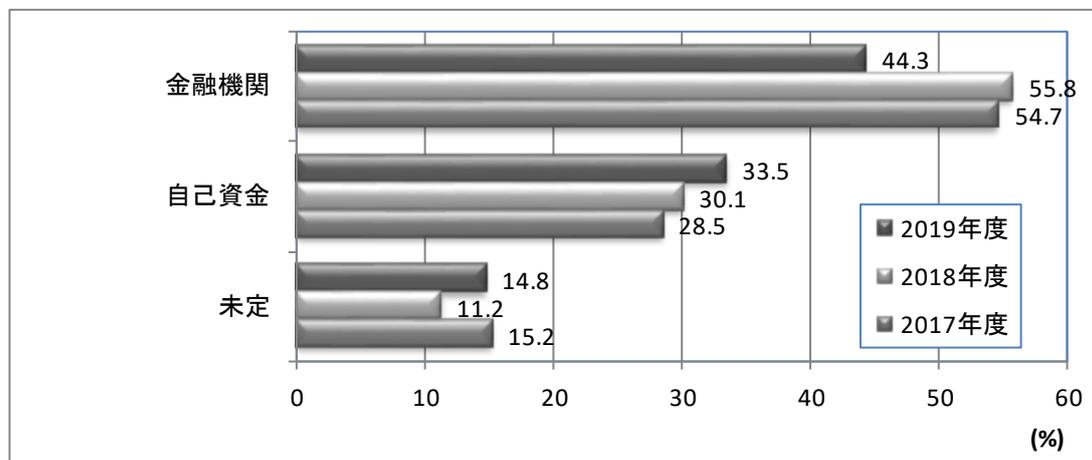
##### (1) 今後1年間に設備投資計画はありますか

「計画あり」の合計が前回比ほぼ横ばいの19.5%、「計画なし」は0.9ポイント増加の76.0%。「金利が低下すれば設備投資予定」は3.7%(0.5ポイント減少)で、金利の低下期待は減少している。



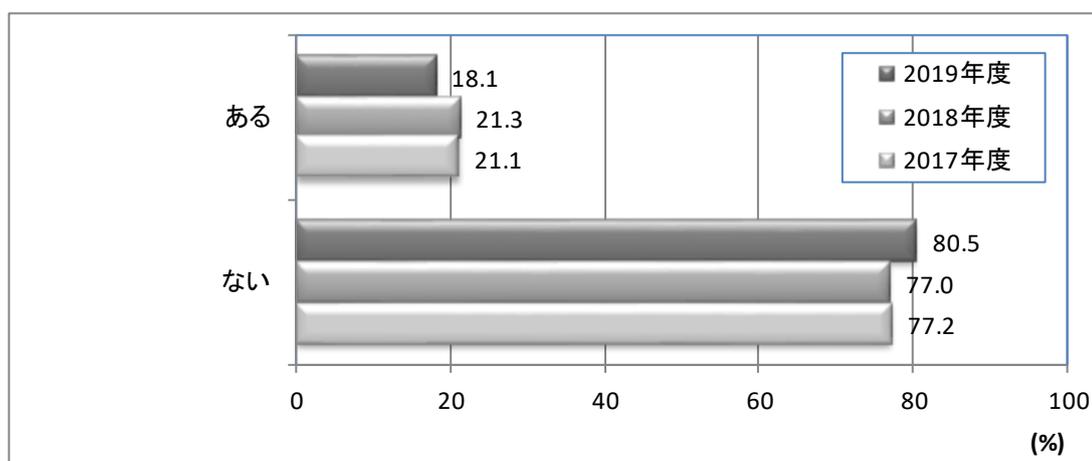
## (2) 資金調達の手続きについて

調達先は 44.3%が金融機関だが、自己資金も 33.5%と高水準である。



## (3) 今後1年の借入計画

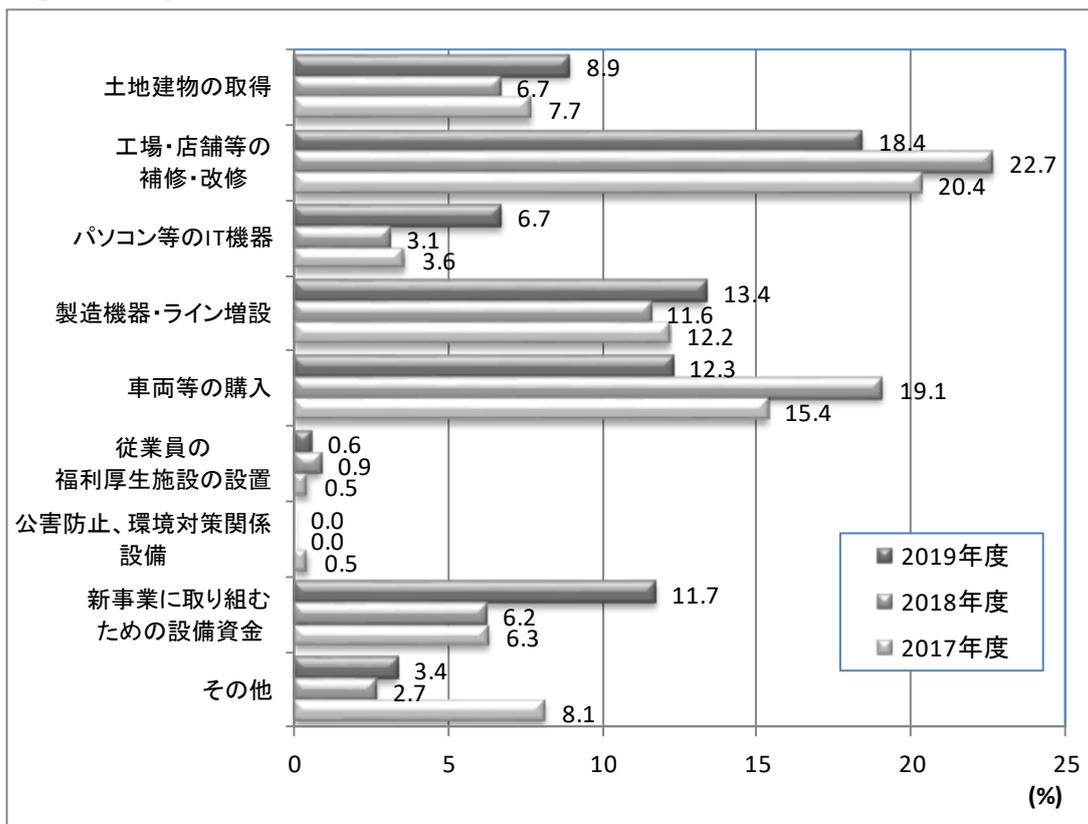
「借入計画がある」は前回と比べ、3.2ポイント減少し 18.1%だった。「ある」を業種別にみると、運輸業、卸売業、製造業、建設業の順で高い。



## (4) 借入計画がある場合の資金使途（未記入除外、回答数構成比）

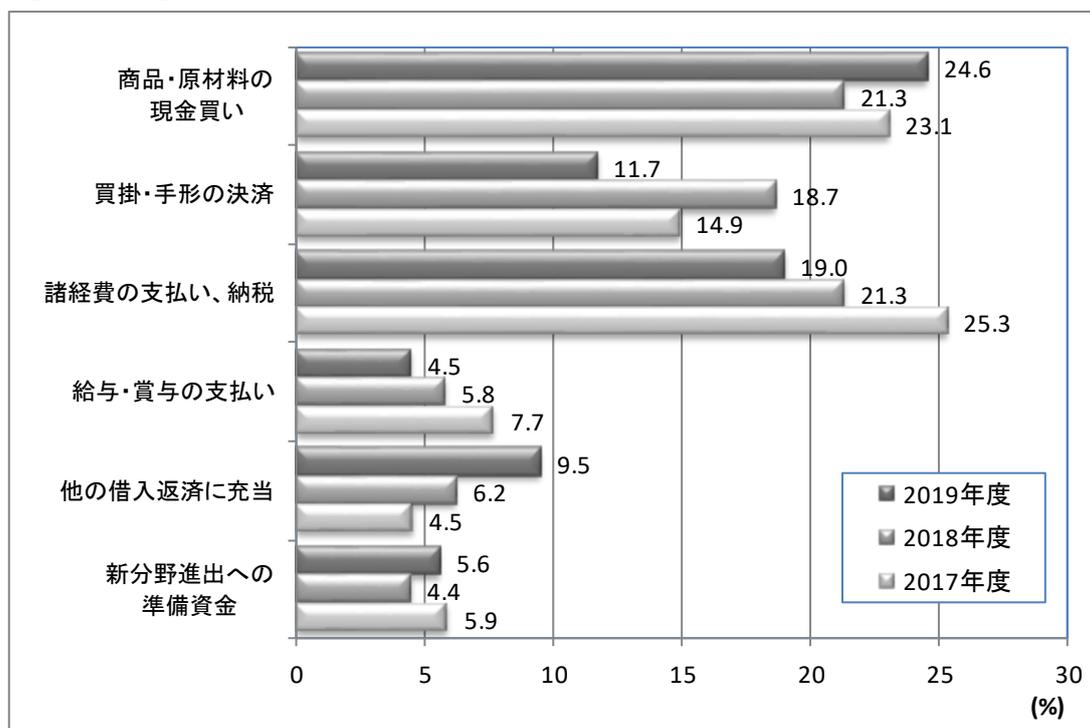
「設備資金」の資金使途では、「工場・店舗等の補修・改修」「製造機器・ラインの増設」「車両等の購入」等の本業投資が多い。「新事業に取組」は 11.7%で前回比 5.5ポイントの増加だった。「運転資金」では、「商品・原材料の現金買い」「諸経費の支払い・納税」「買掛金・手形の決済」が多い。「新分野進出への準備資金」は 5.6%で 1.2ポイントの増加だった。

### 【設備資金】



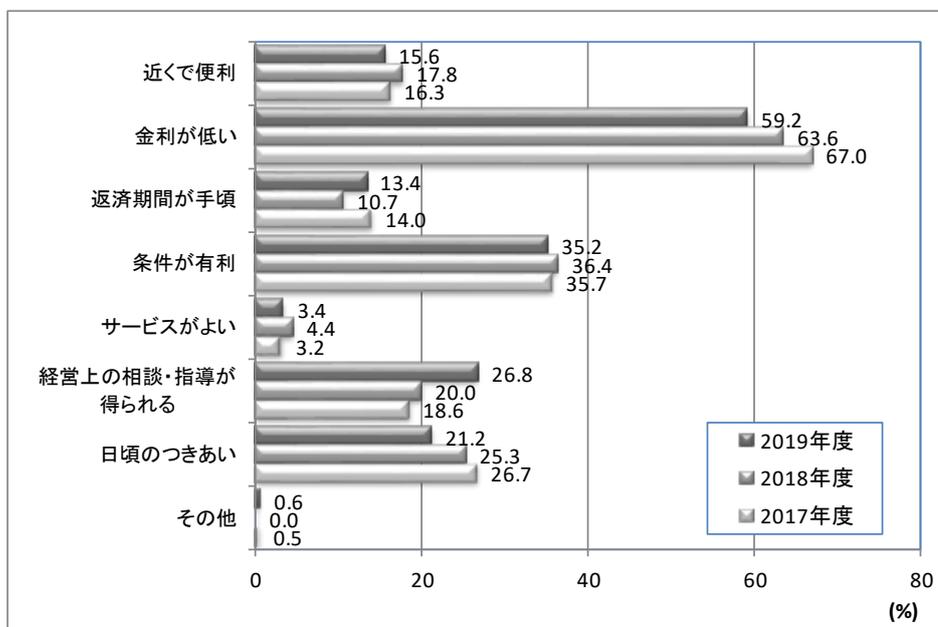
その他に看板、バリアフリー、建物修理、エコキュート等があった。

### 【運転資金】



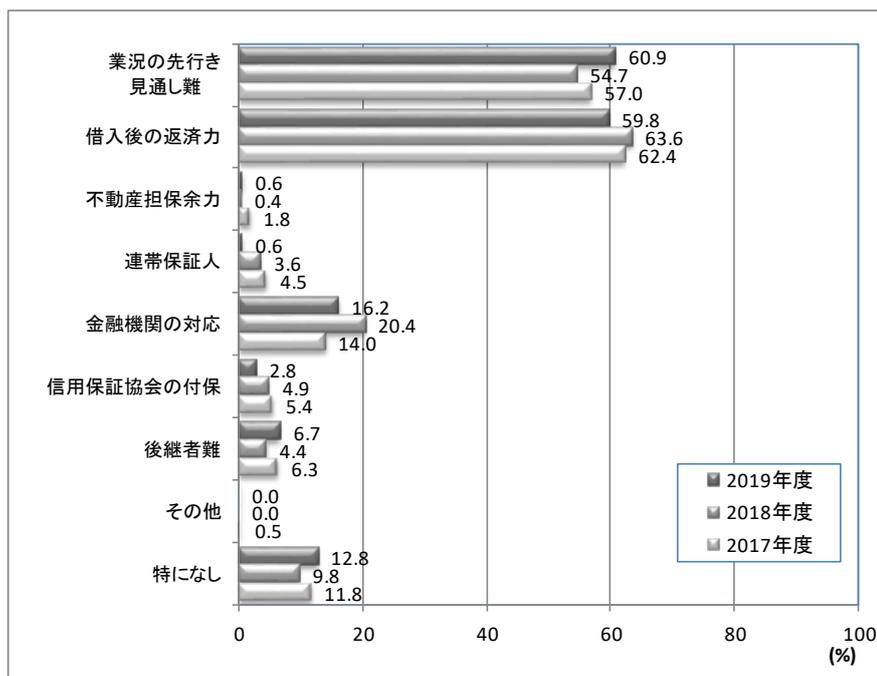
### (5) 借入時の重視条件（2つ以内の複数回答）

「金利が低い」が59.2%、「条件が有利」の35.2%で取引条件面が重視されている。間接条件の「経営上の相談・指導が得られる(26.8%)」「日頃のつきあい(21.2%)」も高い水準である。



### (6) 借入を考える場合、何が懸念されるか（2つ以内の複数回答）

「業況の先行き見通し難」の60.9%、「借入後の返済力」の59.8%が2大懸念項目となっている。「金融機関の対応」は16.2%で4.2ポイント減少、後継者難は2.3ポイント増加の6.7%だった。「連帯保証人」は0.6%で3.0ポイントの減少となった。

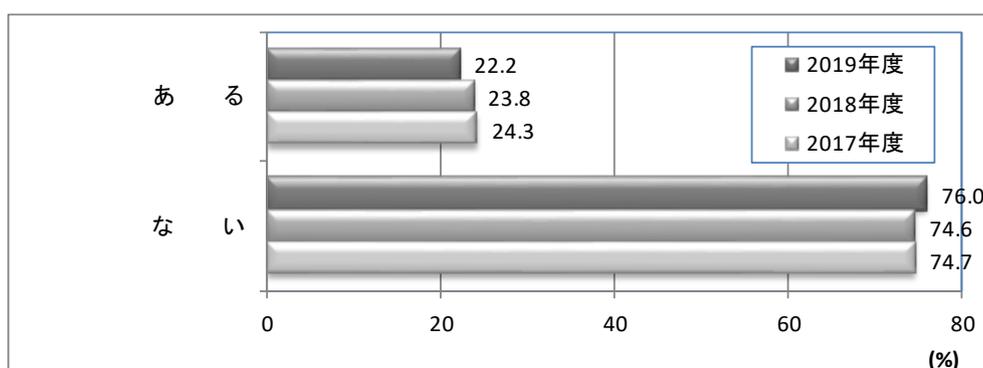


## 5 融資制度 等

### (1) 国・県・市町村の融資制度の過去1年以内の利用状況

前回に比べ、「利用がある」割合は 1.6 ポイント減少(22.2%)しており、「ない」は 1.4 ポイント増加(76.0%)した。

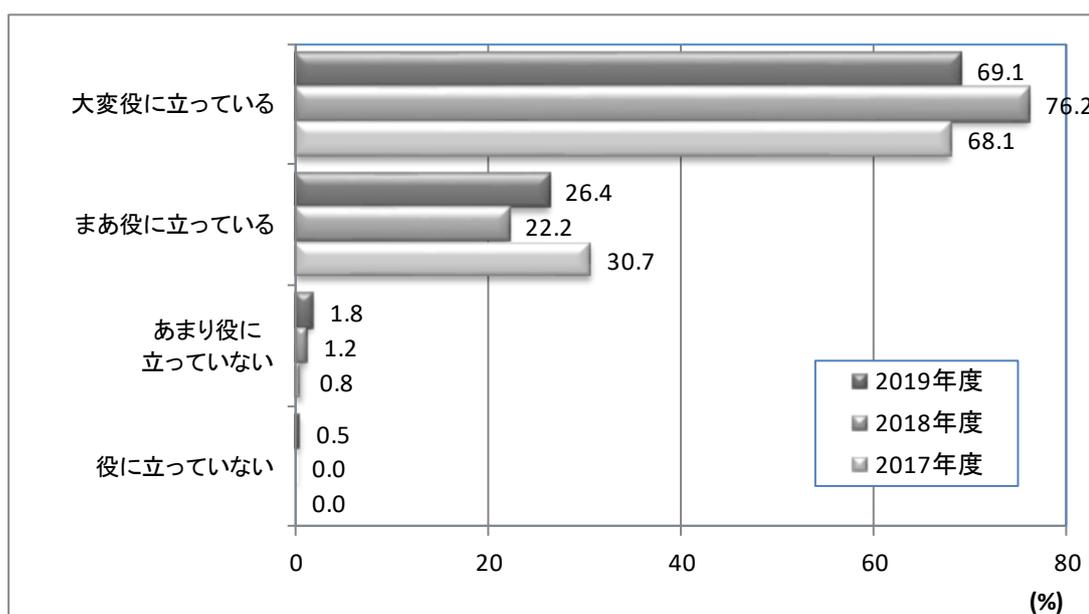
「利用がある」を業種別に見ると、卸売業、運輸業、建設業の順で高い。一方で「利用がない」の従業員規模別では、「11～15人」「21人以上」の大きなクラスが多かった。



### (2) 国や県、市町村の融資制度は経営(資金調達)の役に立っていますか

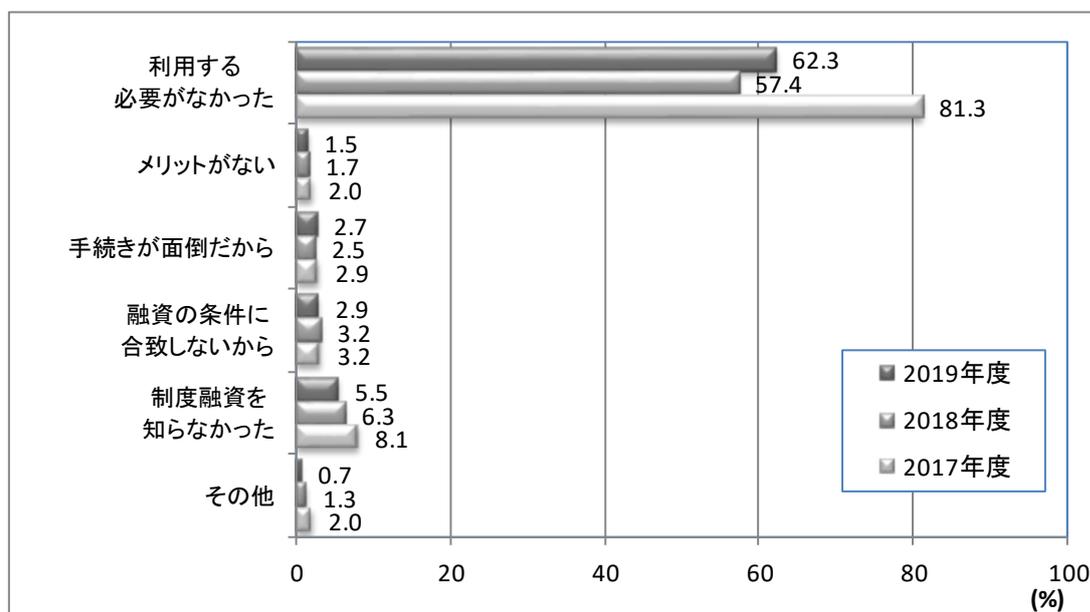
経営に役立っていると回答した企業は、「大変役に立っている」「まあ役に立っている」を合わせて 95.5%を占めている。

「あまり役に立っていない」「役に立っていない」は合計で 2.3%だった。



### (3) 国や県、市町村の融資制度を利用しなかった理由

「利用する必要がなかった」割合が62.3%、「制度を知らなかった」は0.8ポイント減少の5.5%だった。「融資条件合致せず」は2.9%、「手続き面倒だから」は2.7%だった。

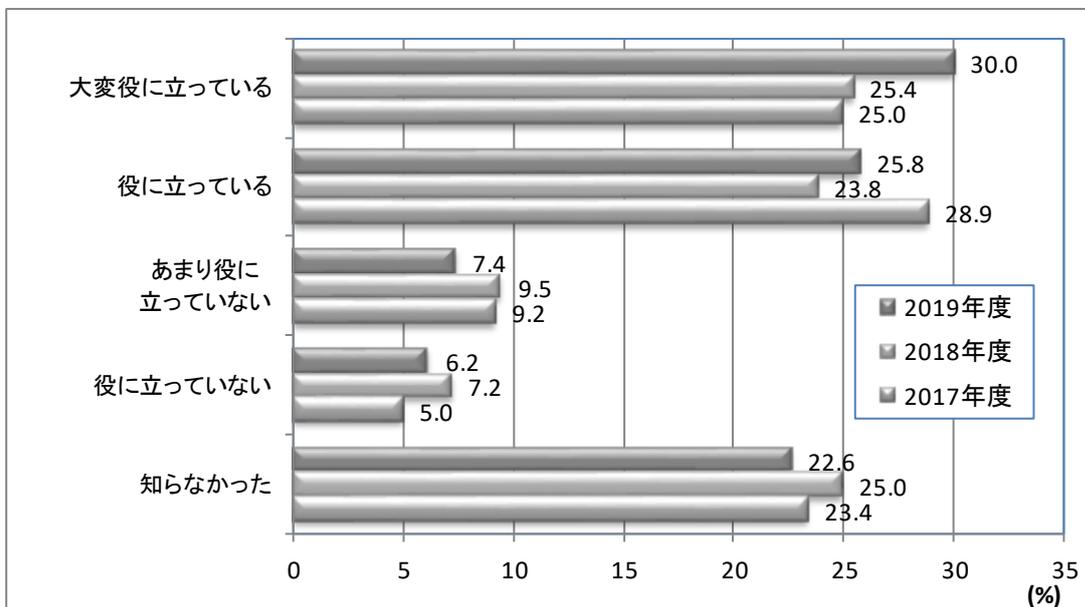


### (4) 国(政府系金融機関)、県、市町村制度融資について、寄せられた意見

- ・金利が高い。0%台へ希望
- ・創業者支援は充実しているが、老舗の事業承継は充実していない
- ・借入条件の緩和(無条件等)、同
- ・短期のプロパーがあれば便利
- ・利益に応じて返済額がスライドする制度があるとありがたい
- ・現状の金利水準にあった制度融資または金利補助
- ・融資期間を長くしてほしい
- ・PRが消極的
- ・制度融資をわかりやすく、全体に知らせてほしい
- ・アドバイス、融資、補助金をもっと聞きたい
- ・借入はしない方がいい

(5) マル経融資(日本政策金融公庫の公的融資制度)は、経営の役に立っていますか

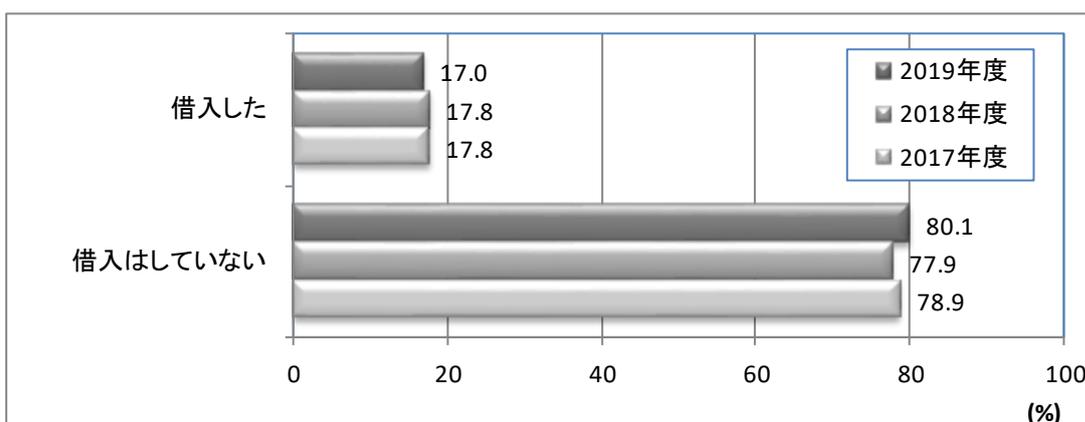
「大変役に立っている」と「役に立っている」の合計で 55.8%と比較的高い。「知らなかった」は 2.4 ポイント減少の 22.6%だった。



(6) 信用保証協会についておたずねします

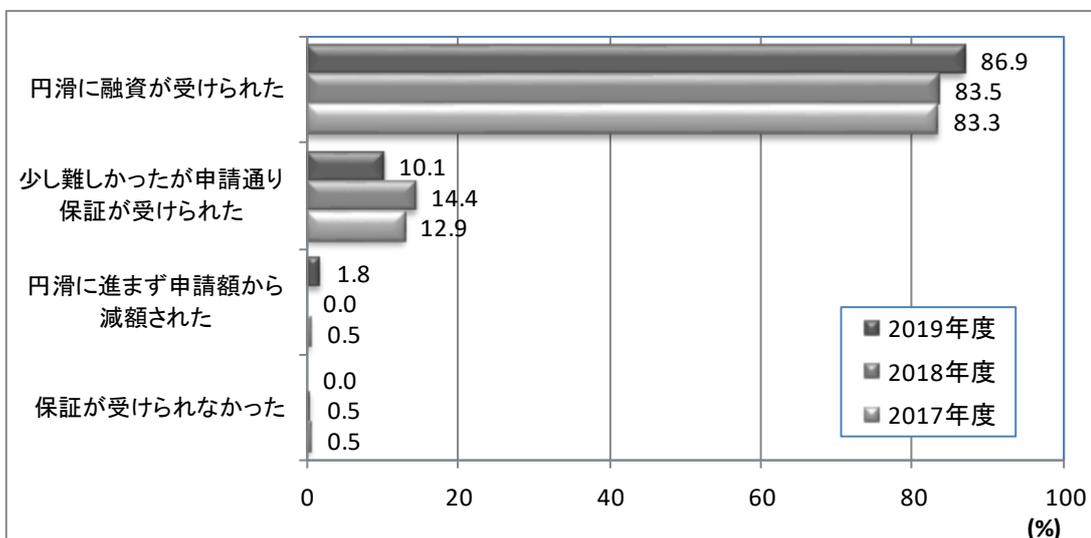
ア、最近1年間に信用保証協会の保証付きで借入をされましたか

最近1年間に保証付きで借入をした企業は 17.0%で前回比やや減少した。借入した業種別では、運輸業、卸売業、製造業が多かった。従業員規模別では、「0人」「1人」の小規模企業の利用が少なかった。



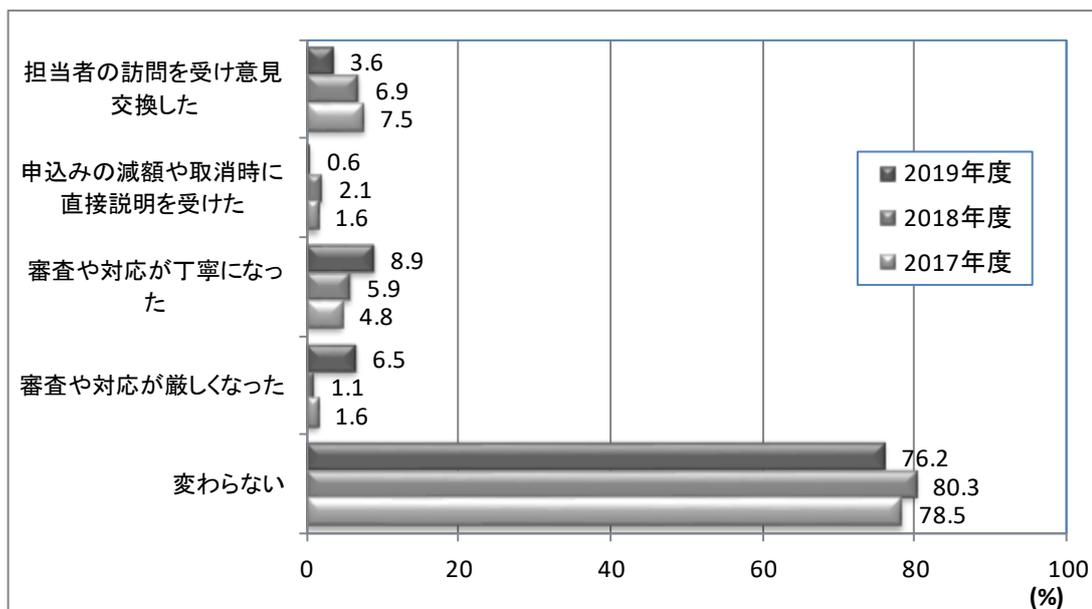
### イ、円滑に保証手続きが進みましたか

「円滑に融資が受けられた」86.9%と「少し難しかったが受けられた」10.1%の合計の97.0%が保証応諾となり、「減額された」は1.8%だった。



### ウ、保証協会の態度に変化がありましたか

「変わらない」が76.2%と4.1ポイント減少。「対応が丁寧」などの評価意見が3ポイント増加の8.9%となった。「厳しくなった」は5.4ポイント増加の6.5%だった。



(7) 信用保証制度について、ご意見があれば自由にご記入ください

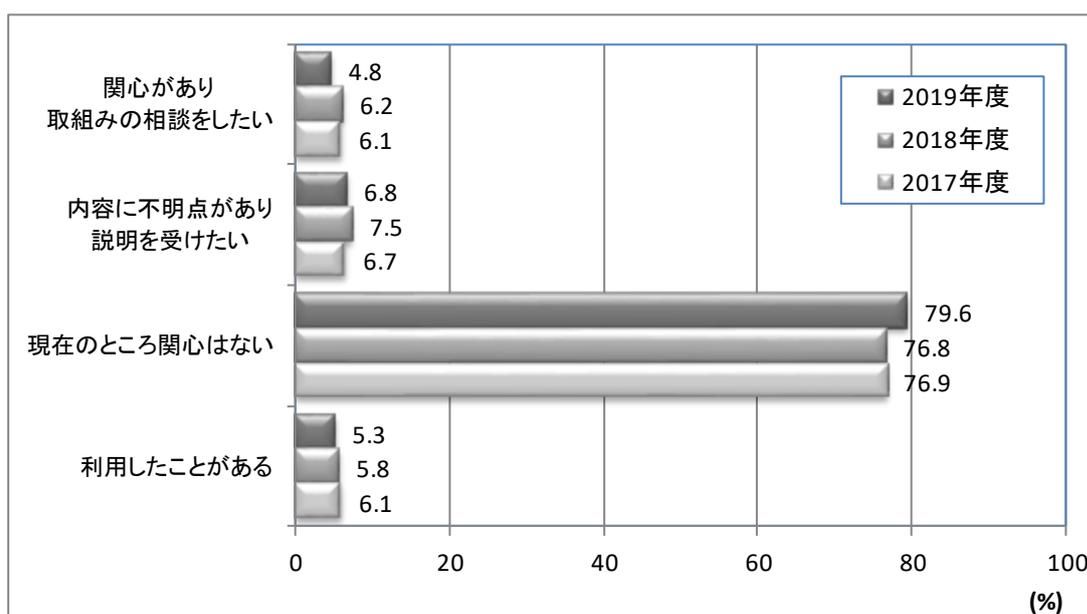
- ・保証料負担が大きい、同、同、同、同、同、同、同
- ・保証料の見直しを希望
- ・金利が高すぎる 同
- ・借入時の保証料が大きく、必要がない
- ・保証人に対する審査が厳しい
- ・現時点の会社業績を重視しない
- ・プロパーで借りられる制度がほしい
- ・金融機関まかせの姿勢で利用促進に自助努力不足
- ・一部の会社だけが利用しているのではないか
- ・保証制度は必要ない

6 最近の諸制度についておたずねいたします

(1) 「中小企業・小規模事業者ビジネス創造支援事業」の専門家派遣について

「利用したことがある」「相談したい」「説明を受けたい」の合計は 16.9%で、前回比で 2.6 ポイント減少、やや一巡感がみられる。

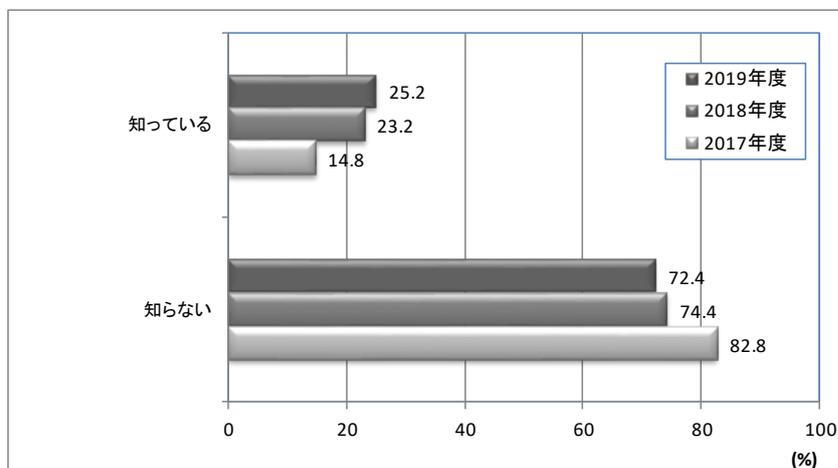
「関心はない」は 79.6%で 2.8 ポイント増加した。



## (2) 事業承継について

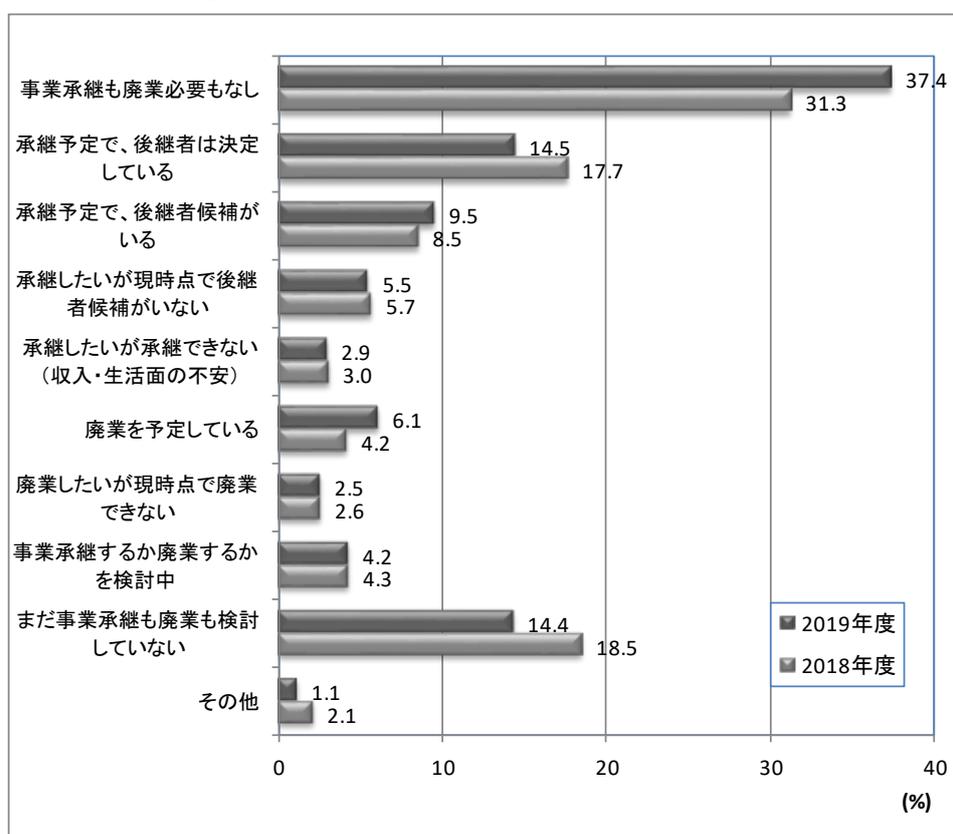
「事業引継ぎ支援センター」を知っていますか

「知っている」は25.2%で2.0ポイント増加した。

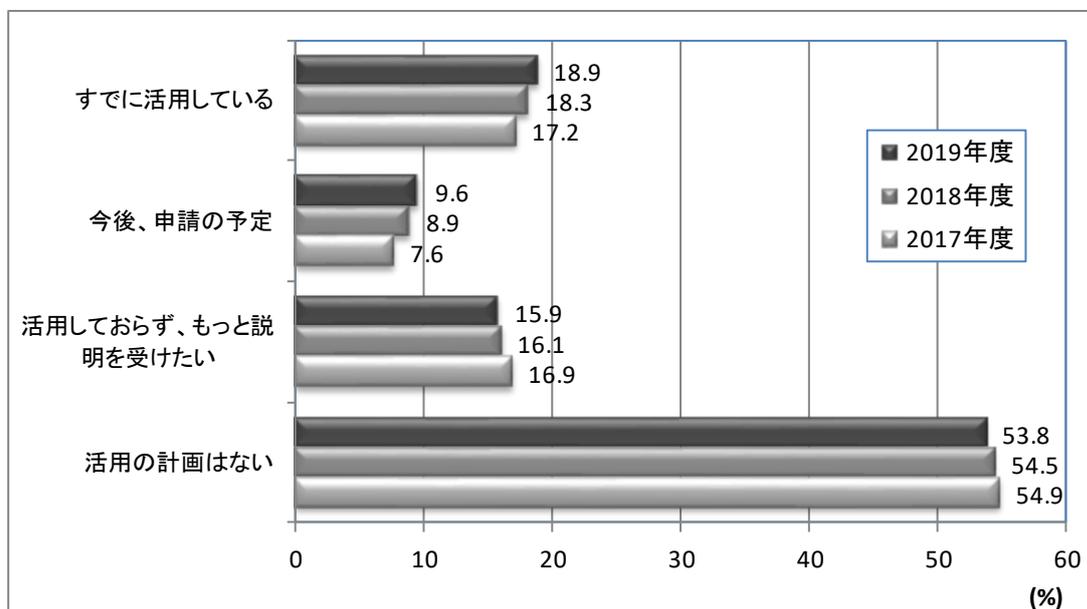


## (3) 後継者対策についておたずねします

「事業承継も廃業も必要なし」と「事業承継も廃業も検討していない」の合計は51.8%。残る全体の約半数が事業承継か廃業を検討中で、うち「後継者決定」「後継者候補がいる」の合計が24.0%となった。「後継者候補がない」「承継したいが承継できない」の合計が8.4%だった。「廃業予定」「廃業したいが出来ない」「事業承継か廃業か検討中」の合計は12.8%(前回比1.7ポイント増加)だった。



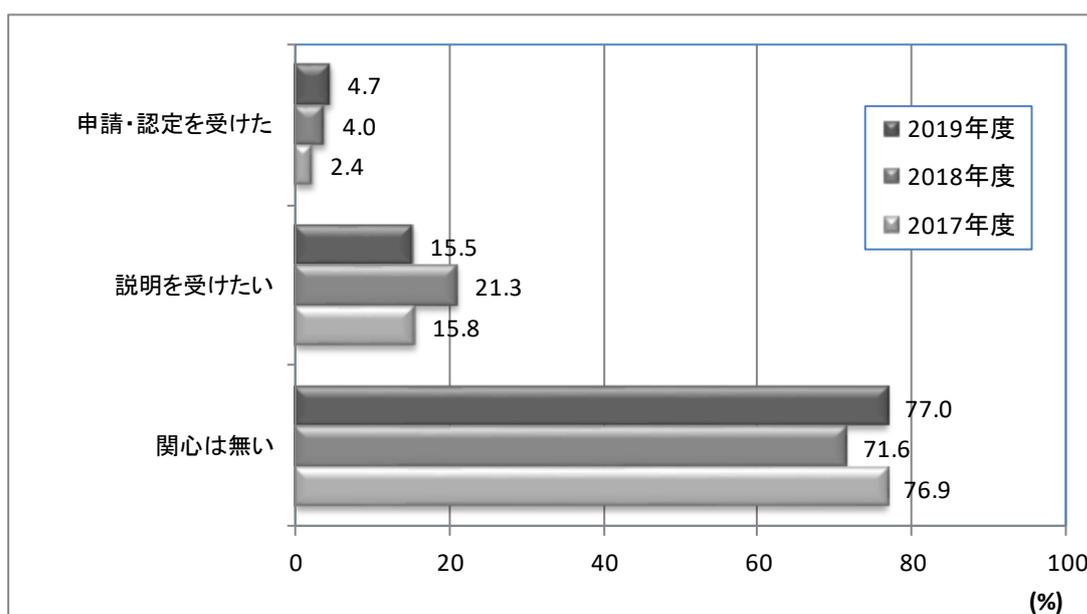
- (4) ものづくり補助金や小規模事業者持続化補助金などの最近の補助金制度について  
「すでに活用している」と「今後、申請予定」の合計は28.5%で1.3ポイント増加。  
活用は増加している。「説明を受けたい」が15.9%だった。



(5) 経営力向上計画について

(経営力向上計画は平成28年7月に施行され、認定を受けた場合、固定資産税の軽減支援や金融支援が拡大されました。)

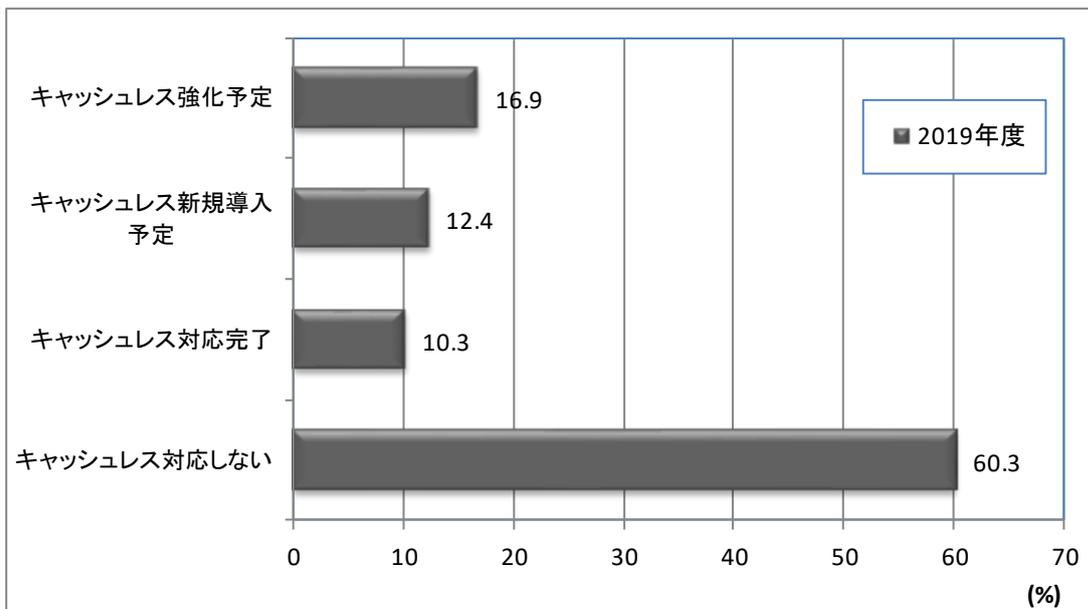
「申請・認定を受けた」は0.7ポイント増加の4.7%となり、業種別では製造業が多かった。「説明を受けたい」は15.5%で、業種別では卸売業、製造業、運輸業の順で関心度が高い。



(6) キャッシュレス決済の導入予定(2019年10月から最大5%のポイント還元)

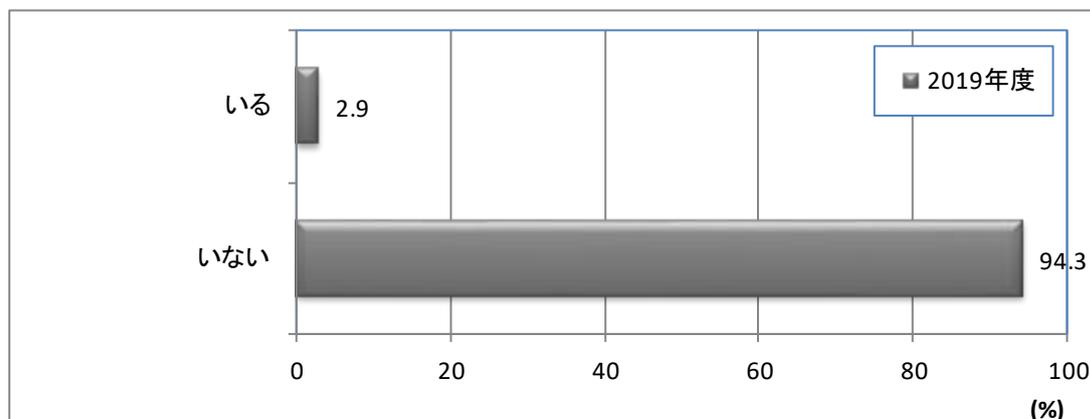
「キャッシュレスの必要なし」を除いた場合(表より削除)、「強化予定」「導入予定」「対応完了」の「対応する」の合計は39.6%で、業種別での「対応する」は飲食業・宿泊業62.8%、小売業55.3%、サービス業45.6%の順に高かった。

「対応しない」は60.3%と高水準だった。高水準の理由は、現状利用顧客が少ない、手段が多数で絞り切れない、ポイント還元後の手数料負担が大きい等があると思われる。



(7) 首都圏等に在住する知人のUIJターン情報の有無について

富山県に移住やいわゆるUIJターンの意向の人の存在については、94.3%が「いない」の回答だった。



(6) 商工会に期待する金融円滑化支援策について、自由にご記入ください。

- ・その都度相談にのってほしい
- ・補助金、助成金、節税等のアドバイスを積極的に受けたい
- ・個々の事案別に細やかなアドバイスをお願いしたい
- ・いろいろ相談にのってもらえればありがたい
- ・わかりやすくいろいろと指導してほしい
- ・専門的な視点からの引き続きのアドバイスをもらいたい
- ・国、県、市町村の制度融資は商工会の権限で決定でないか
- ・消費税反対、不況のうえに消費減退。新幹線効果は中心都市のみ
- ・キャッシュレス決済の簡素化(誰でも使えるように)
- ・マル経を拡大してほしい
- ・最近、訪問がない
- ・会員事業所の定期的に訪問(わざわざ行く人は少ない)。会費を払い、何もしてもらっていない感がなくなればよい
- ・補助金申請等でお世話になる
- ・種々の融資制度を利用し経営の役にたった
- ・マル経制度に感謝
- ・大変たすかっている
- ・アンケートはやめてほしい

以上